

《 速 報 》

NPOの活動と課題・NPOが感じる地域の課題に関する調査についてのご報告

- 【実施期間】 2022年4月20日（水）～2022年5月31日（火）
- 【回答方法】 WEBフォームによる回答
- 【主 催】 東北被災地の支援組織広域ネットワーク NPOサポートリンク
- WEBサイトURL：<https://www.nposl.jp/>

1. アンケートの目的

- このアンケートは、岩手・宮城・福島の主に関沿岸被災地で活動するNPO法人（認定を含む）・一般社団法人（非営利活動）を対象に、団体がおかれている現状や抱えている課題、団体を感じている地域の課題等を伺い、今後、NPO等への支援策を各地域の支援組織間で検討や、NPOサポートリンクが事業を行う際に活用することを目的に実施します。
集計結果は、NPOサポートリンクのホームページ等で公開させていただきますが、団体名が特定されるような公開は致しません。また、ご回答いただいた情報は、本調査の目的以外で使用することはありません。

2. 【ご回答いただく方の想定】

- 事業を統括されている職員の方、事務局長、代表者

3. 【目 次】

I 地域の課題について（5問）

II 法人運営上の課題について（2問）

III 新型コロナウイルス感染症拡大の影響について（2問）

IV 新型コロナウイルス感染症拡大防止への対応について（2問）

V NPO支援組織との関わり、連携について（2問）

VI 経営意向について（2問）

VII 団体概要について

4. 今回アンケートにご協力いただいた団体等の数についての内訳は以下の通りです。

	NPO法人	一般社団法人	その他	合計
全体	117	12	4	133
岩手県	40	1		41
宮城県	53	11	4	68
福島県	23	1		24

- 《その他の内訳》

個人、市民活動、市民公益活動団体、石巻広域

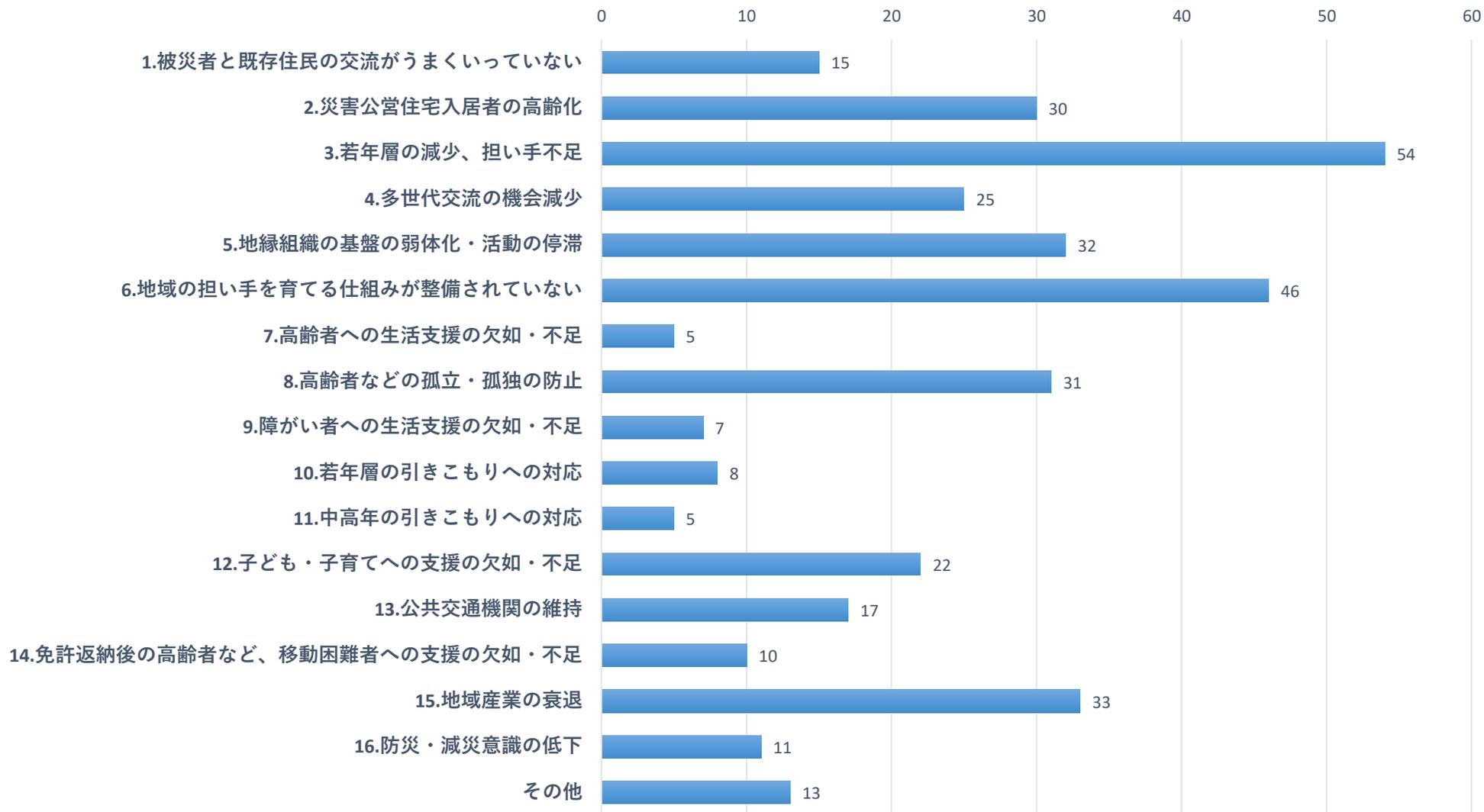
5. アンケート結果について、各質問項目に「全体結果（青いグラフ）」と「3県結果（3色のグラフ）」の集計結果を掲載しております。

6. 団体が特定されるような情報は掲載しておりません。

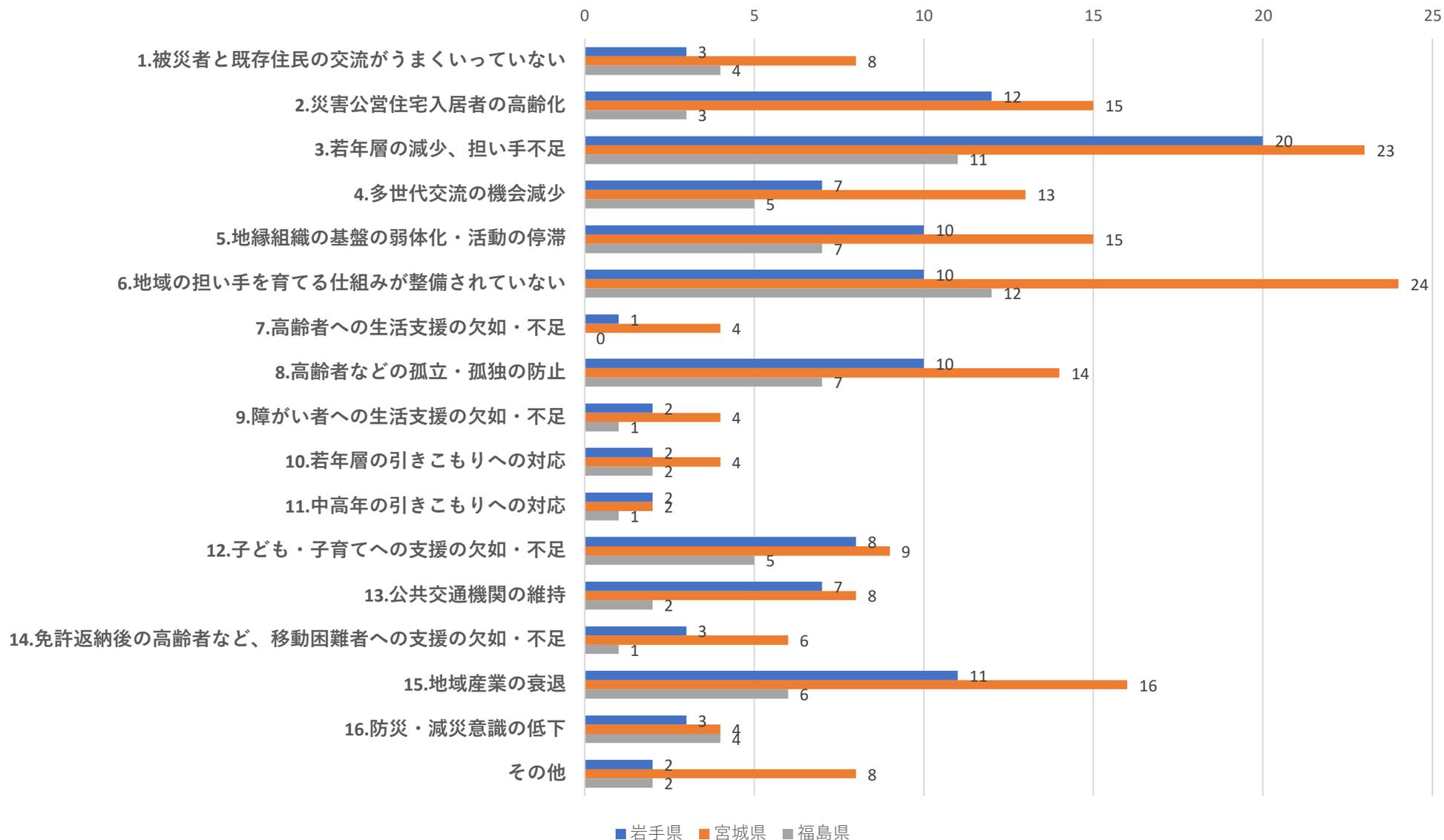
I. 地域の課題について

- ① 貴団体が活動している地域が現在も抱えている課題について
(ア)～(ウ) それぞれの項目ごとに、優先順位の高いものを
最大3つまで

① (ア) 〈東日本大震災に由来する課題〉のうち現在も抱えているもの (最大3つまで) (必須)



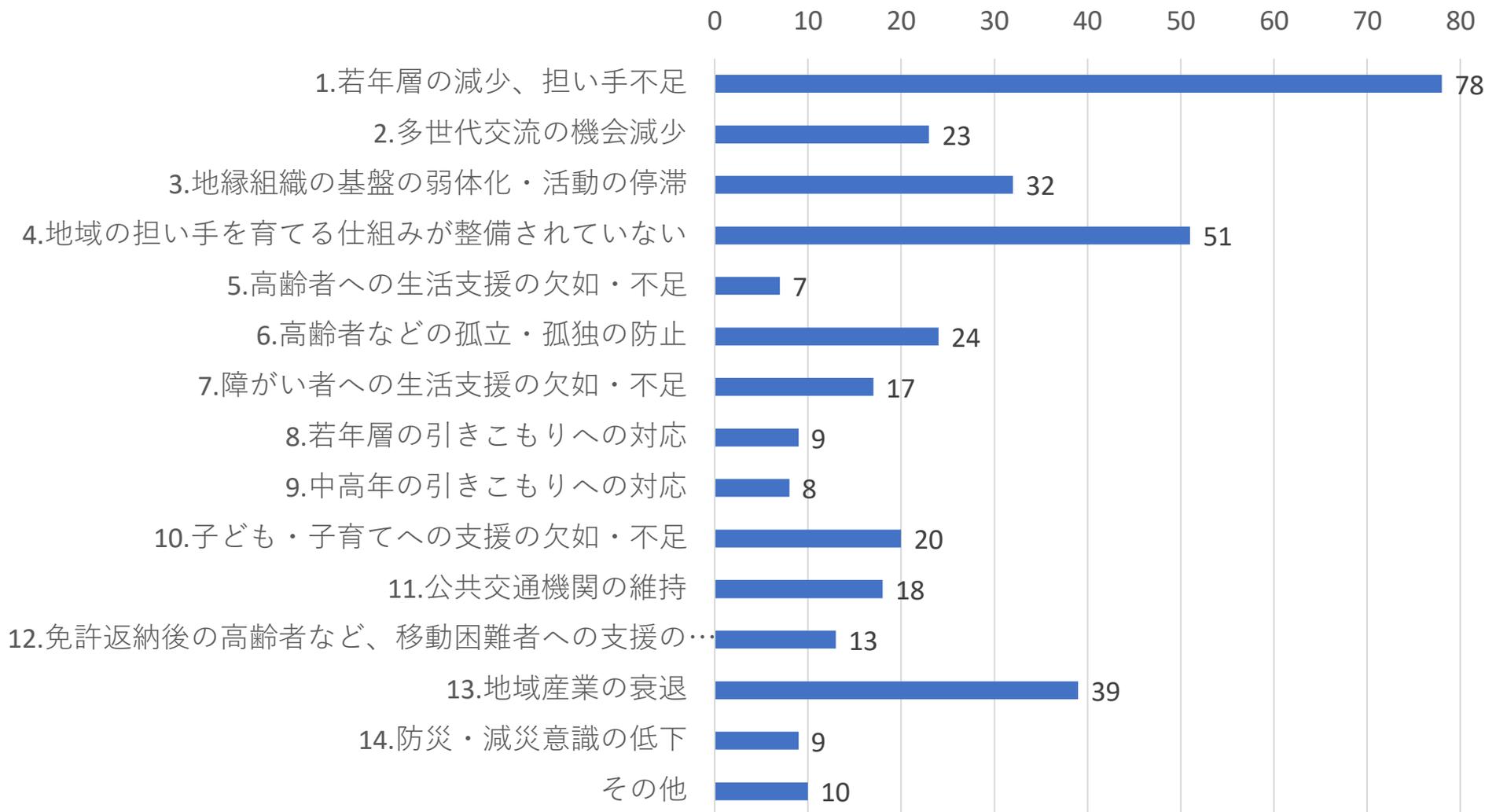
① (ア) 〈東日本大震災に由来する課題〉のうち現在も抱えているもの(最大3つまで) (必須)



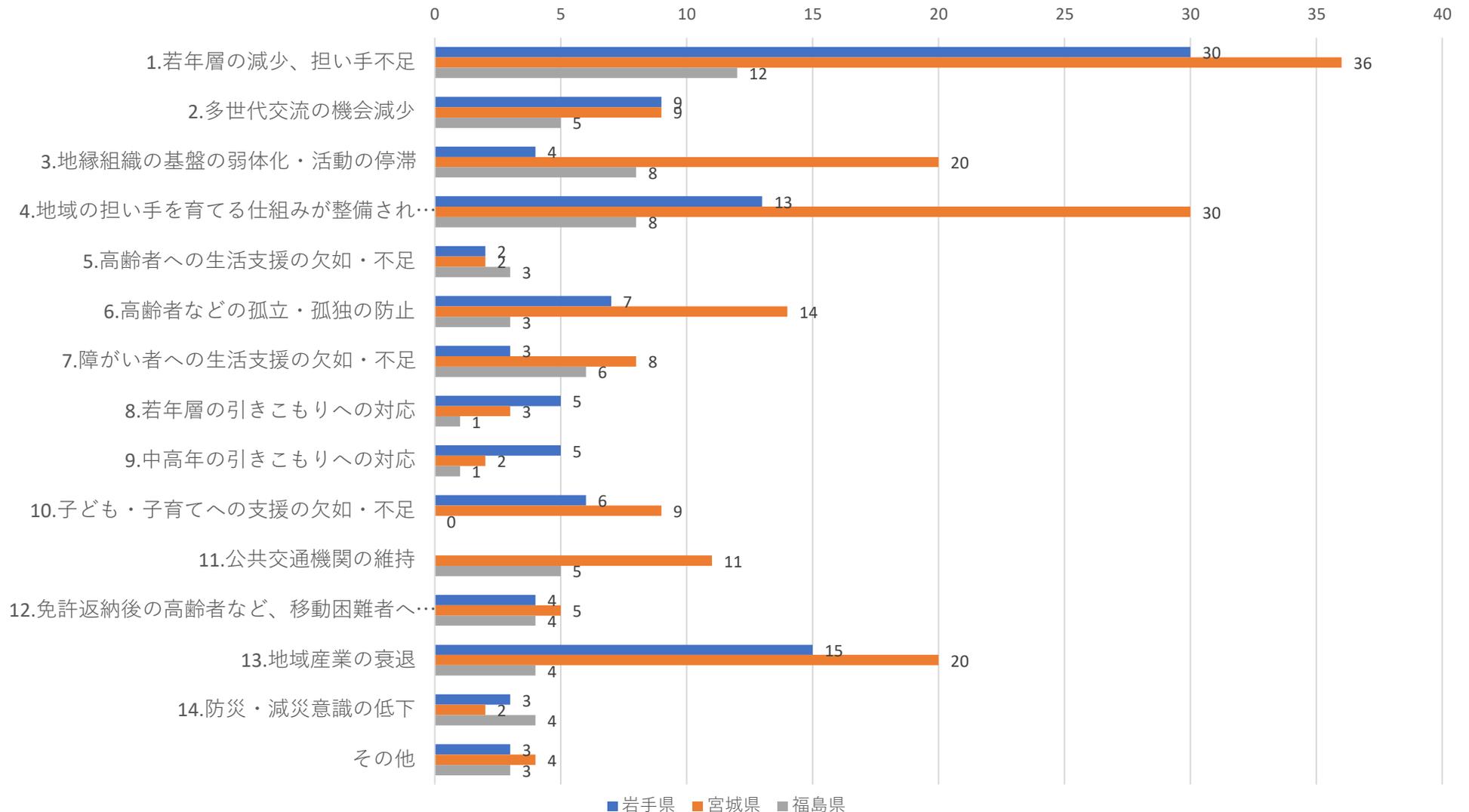
① (ア) 〈東日本大震災に由来する課題〉のうち現在も抱えているもの (最大3つまで) (必須)

《その他》		
1	行政機能の低下	岩手県
2	自殺対策	
3	広域避難者の受入支援の仕組みができていない	宮城県
4	困窮者支援	
5	災害でペットと離れ離れで孤独	
6	震災関連の生活困窮者への施策の減少 (震災復興関連事業や除染の仕事を求め、県外から東北にやってきた人たちが現在困窮している)	
7	地域生活者のアイデンティティの喪失	
8	津波避難が困難	
9	東日本大震災に由来する課題としては当団体では抱えていない	
10	2018年設立のため解りません。	
11	NPO活動なども市民活動の困難さ	福島県
12	ボランティア教育	

① (イ) 〈震災以前から地域に存在している、もしくは震災後に生まれた課題〉のうち現在も抱えているもの(最大3つまで) (必須)



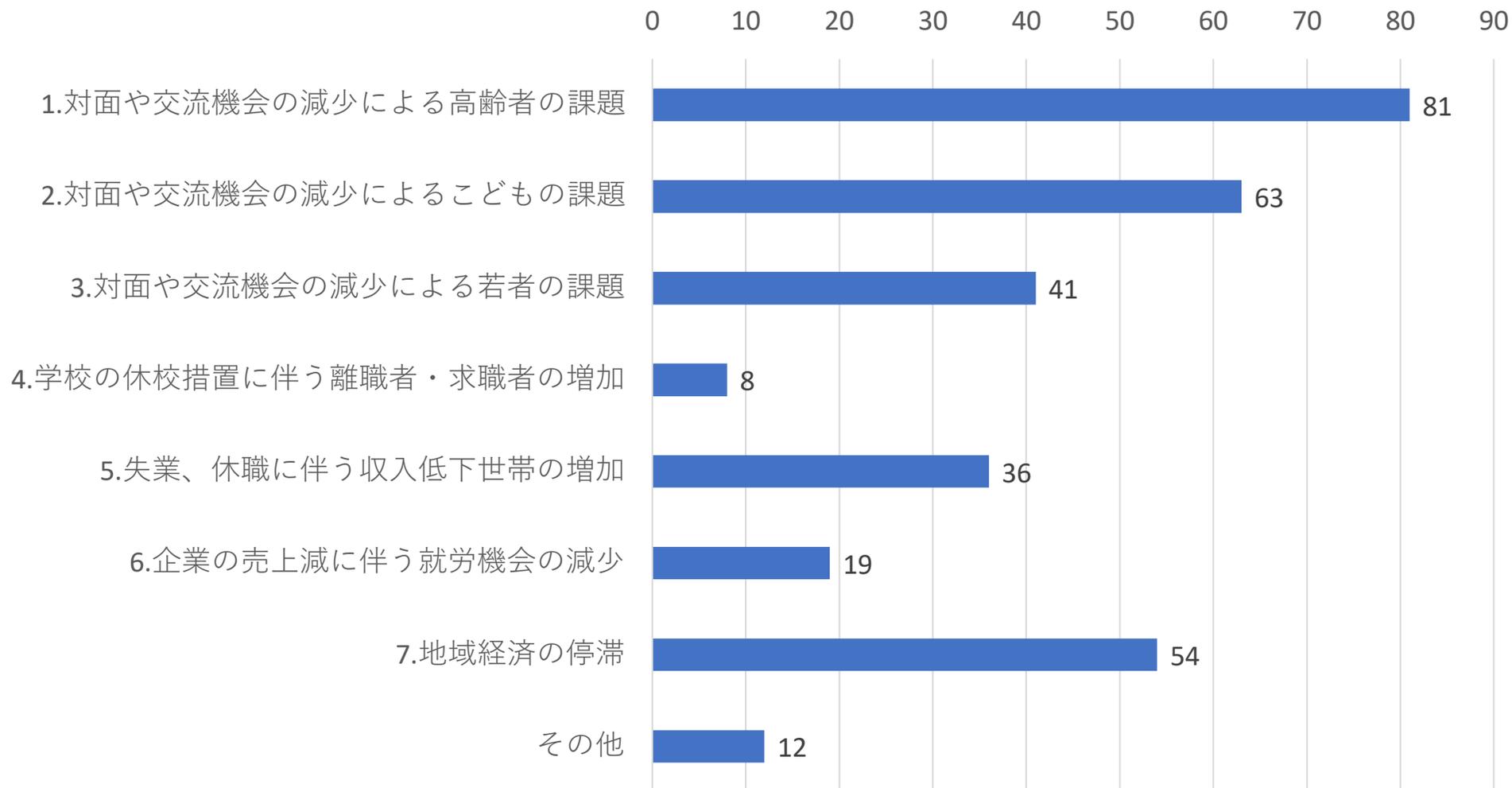
① (イ) 〈震災以前から地域に存在している、もしくは震災後に生まれた課題〉のうち現在も抱えているもの (最大3つまで) (必須)



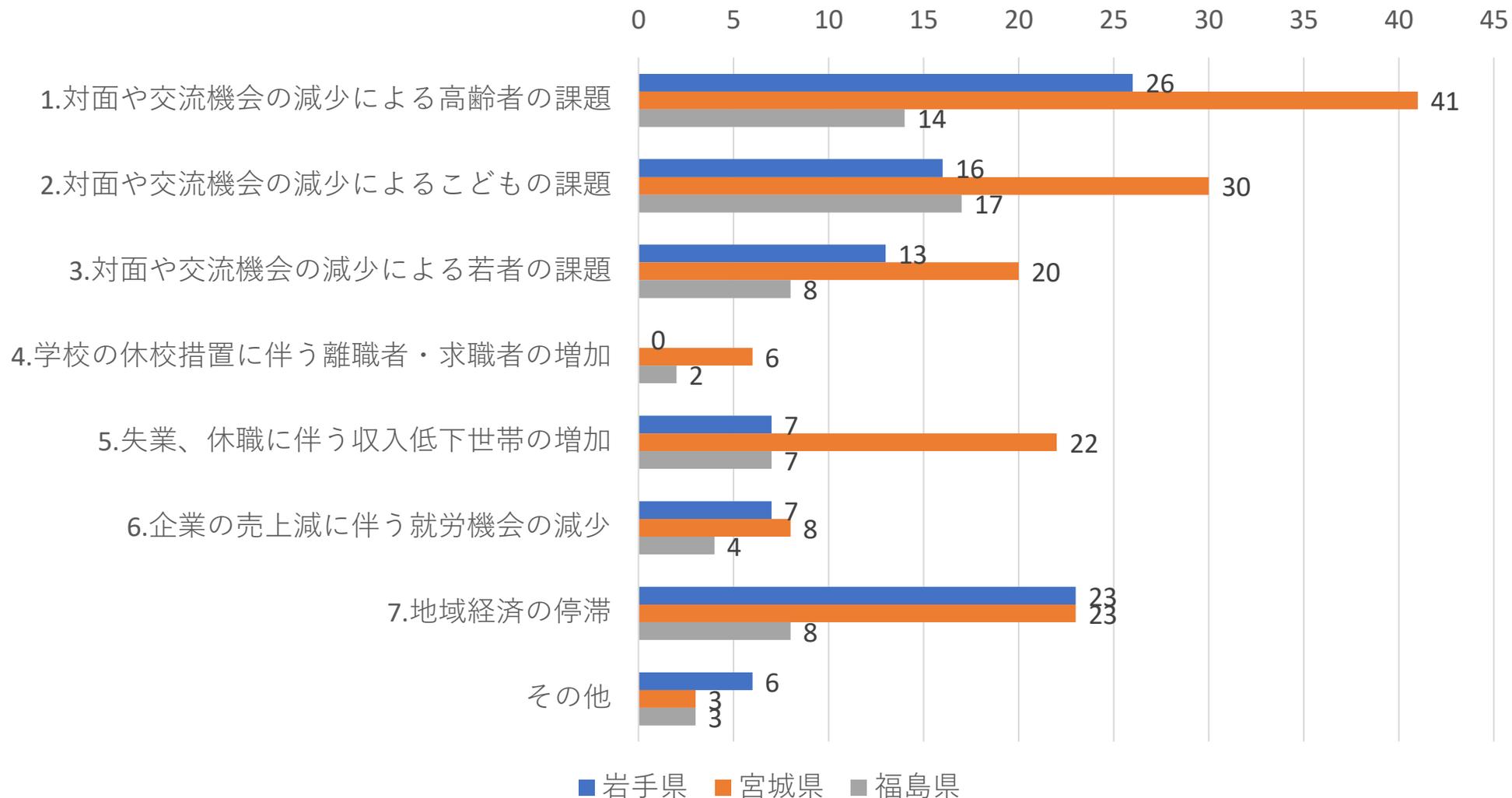
- ① (イ) 〈震災以前から地域に存在している、もしくは震災後に生まれた課題〉のうち現在も抱えているもの (最大3つまで) (必須)

	《その他》	
1	NPOの理解度	岩手県
2	自殺対策	
3	避難経路や避難場所が適正でない	
4	学校教育現場への対応	宮城県
5	原発事故避難の困難	
6	困窮者支援	
7	生活困窮者支援の公的諸施策	
8	ボランティア教育	福島県
9	昨年・今年地震や新型コロナ感染で問題あり	
10	地域内の市民活動団たなどの互助的な相互関係	

① (ウ) 〈新型コロナウイルス感染症に由来する課題〉のうち現在も抱えているもの (最大3つまで) (必須)



① (ウ) 〈新型コロナウイルス感染症に由来する課題〉のうち現在も抱えているもの（最大3つまで）（必須）

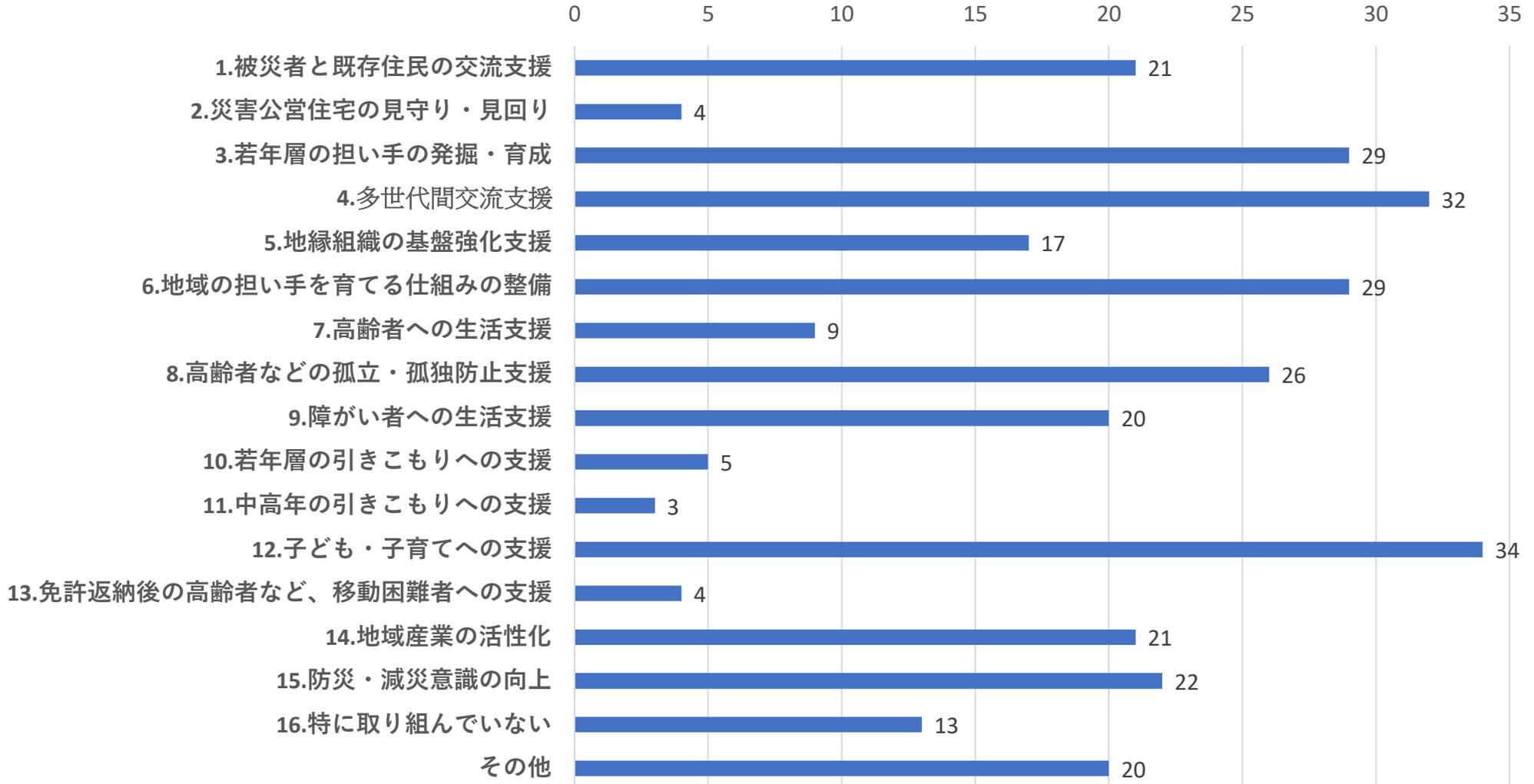


① (ウ) 〈新型コロナウイルス感染症に由来する課題〉のうち現在も抱えているもの (最大3つまで) (必須)

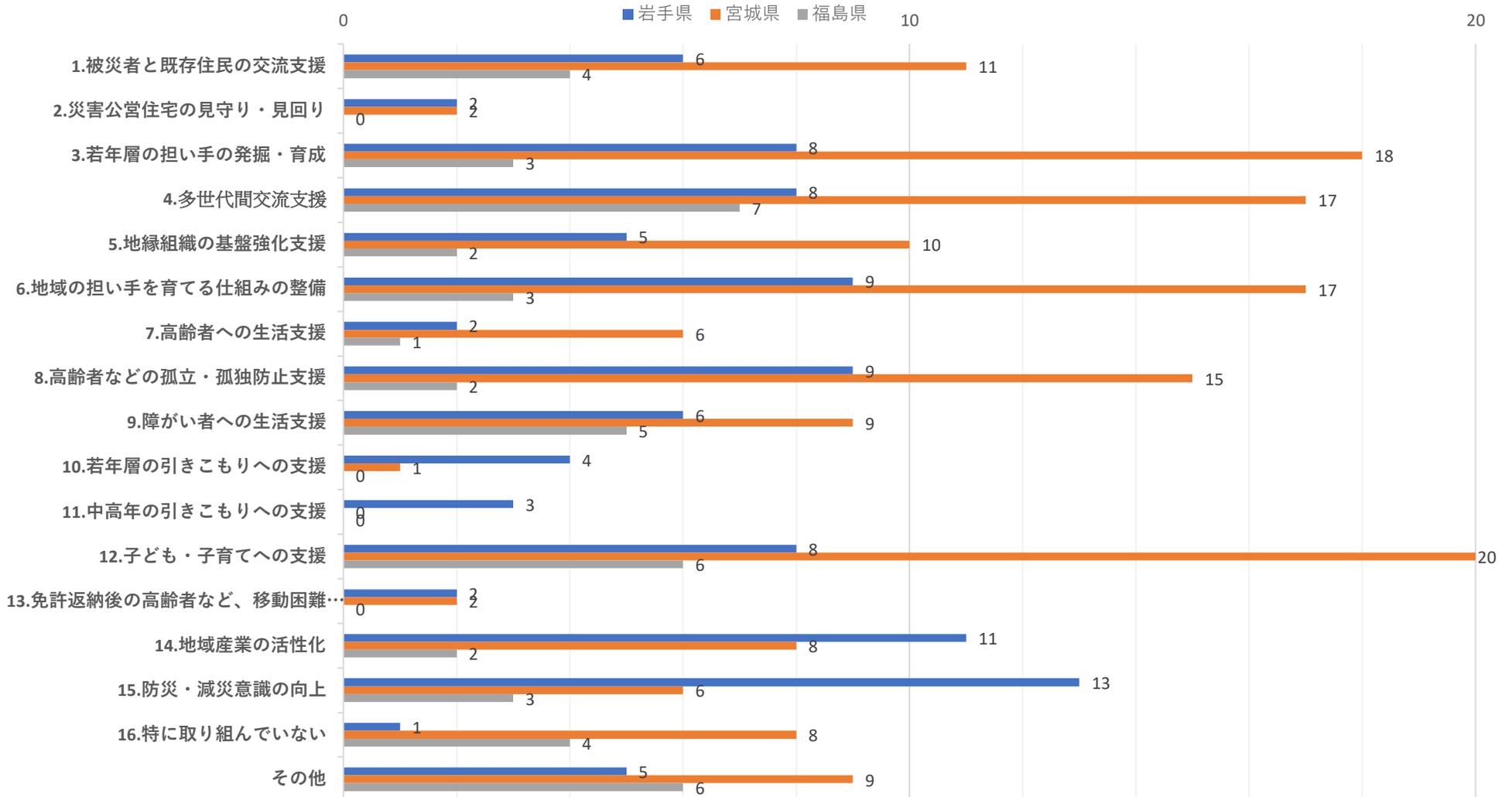
	《その他》	
1	・ コロナに関する必要以上の警戒感	岩手県
2	・ 活動再開に対する組織内の考え方の不一致による事業縮小	
3	・ 傾聴が出来ない	
4	・ 催事の縮小と子供行事の中止	
5	・ 地域の連携や交流を図るなどの活動の減少	
6	・ 地域住民の社会的孤立の課題	
7	・ 2019年事業開始のため以前の情報が無い。	宮城県
8	・ まちづくり活動への参画意識低下	
9	・ 対面や機会減少による障害者の課題	
10	・ これからますます深刻さを増すと思われるコロナの影響に対する無頓着 (!)	
11	・ 該当項目なし	福島県
12	・ 活動の減少によりボランティア教育を行う場が無くなった	

② 現在、貴団体が解決を目指して取り組んでいる地域課題について
(ア)～(ウ)それぞれの項目ごとに、優先順位の高いものを最大3つまで
現在、解決を目指して取り組んでいる地域課題がない場合は「特に取り組
んでいない」をお選びください。

②（ア）〈東日本大震災に由来する課題〉で現在取り組んでいるもの（最大3つまで）（必須）



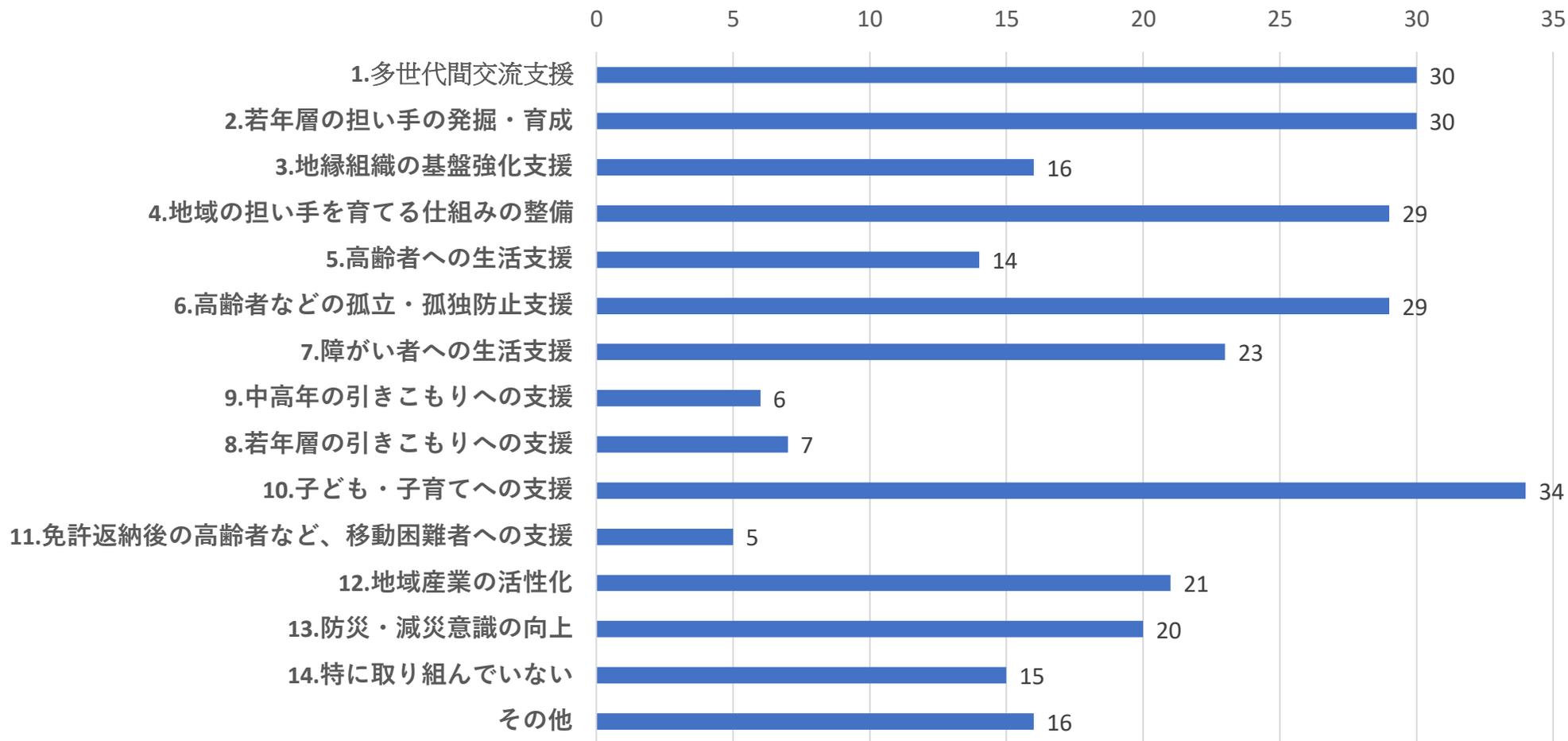
② (ア) 〈東日本大震災に由来する課題〉で現在取り組んでいるもの (最大3つまで) (必須)



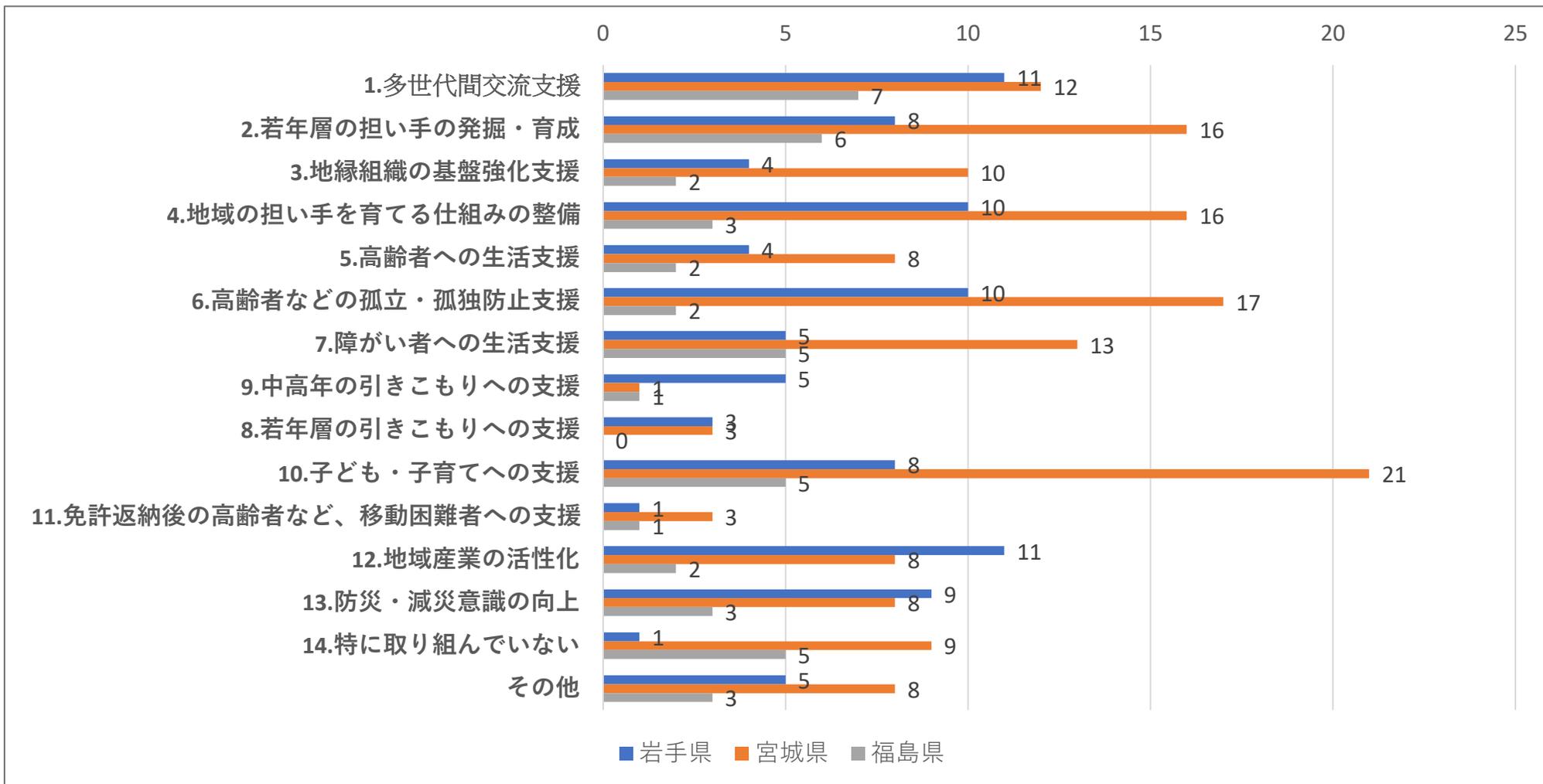
② (ア) 〈東日本大震災に由来する課題〉で現在取り組んでいるもの（最大3つまで）（必須）

	《その他》	
1	市民活動団体への支援が整備されていない	岩手県
2	自殺対策	
3	震災後に設立した	
4	他地域との交流	
5	地域の医療・介護・福祉関係職員の連携強化	
6	フォニックスの普及、英語絵本の活用	宮城県
7	移住者の地域接続	
8	教育の魅力化	
9	広域避難者への受入側での支援の仕組みづくり	
10	困窮者支援	
11	震災風化防止	
12	地域支えあい活動	
13	東日本大震災に由来する課題としては当団体では抱えていない	
14	路上生活者を含む生活困窮者全般への支援活動	福島県
15	環境保全	
16	個人ボランティアへの交通支援	
17	子供のボランティア教育	
18	市民活動団体の基盤強化など	
19	地元地域の高齢者中心にこども公園環境整備を実行	
20	特に優先順位は無い	

②（イ）〈震災以前から地域に存在している、もしくは震災後に生まれた課題〉で現在取り組んでいるもの
（最大3つまで）（必須）



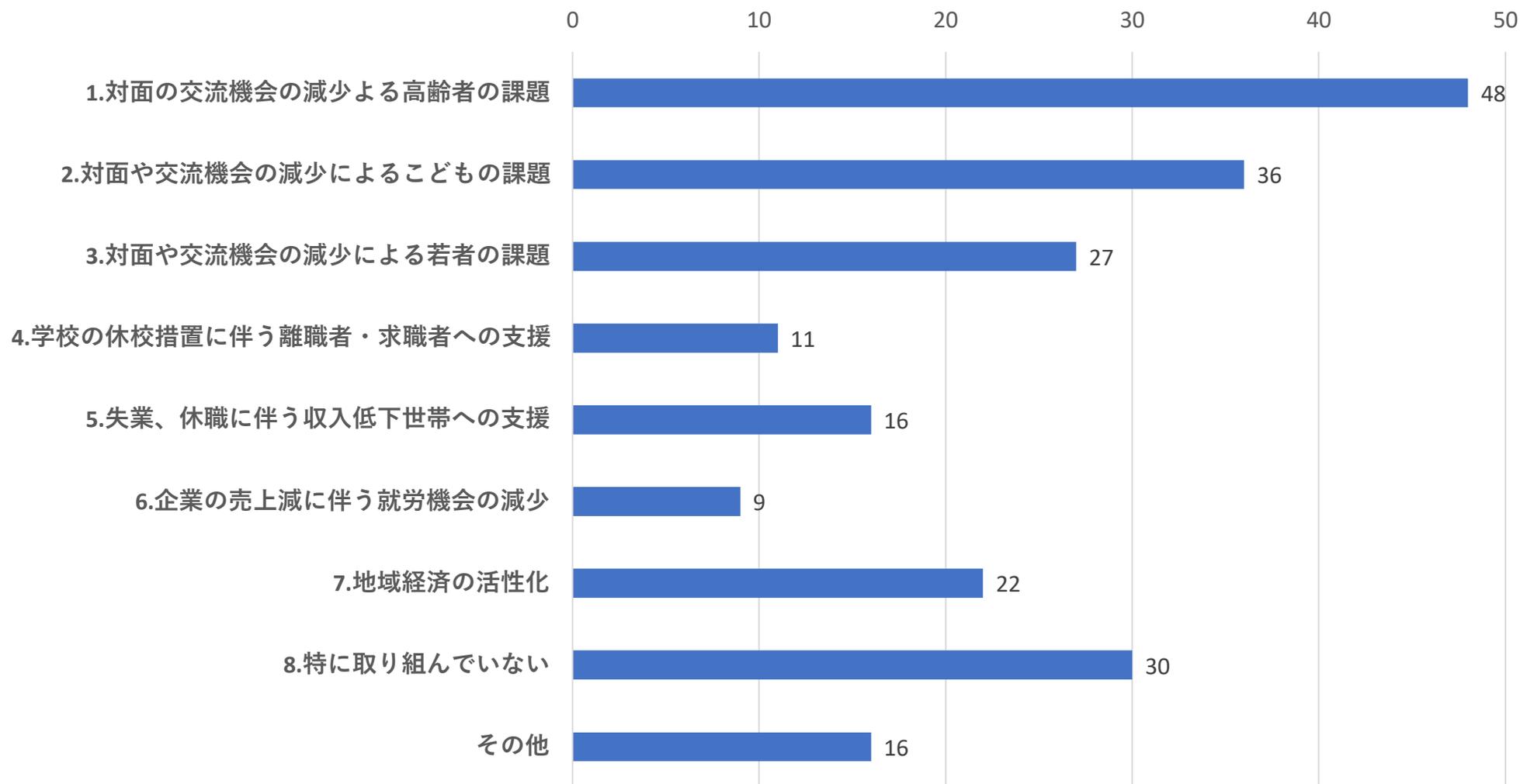
②（イ）〈震災以前から地域に存在している、もしくは震災後に生まれた課題〉で現在取り組んでいるもの
 （最大3つまで）（必須）



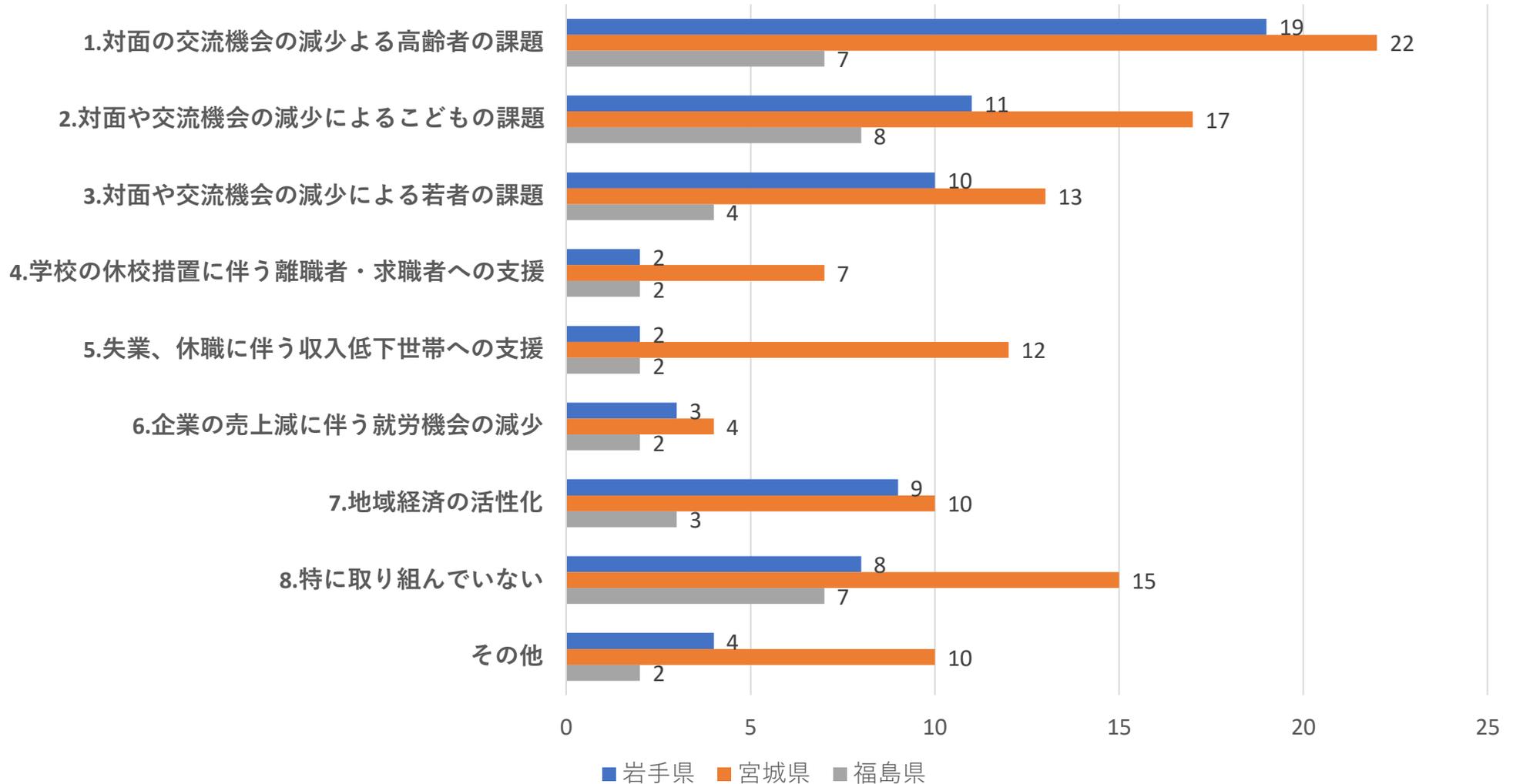
- ② (イ) 〈震災以前から地域に存在している、もしくは震災後に生まれた課題〉で現在取り組んでいるもの
(最大3つまで) (必須)

《その他》		
1	市民活動団体等の支援	岩手県
2	自殺	
3	地域の医療・介護・福祉関係職員の連携強化	
4	地域課題解決を図るNPO等へのサポート	
5	地域住民への交流機会創出支援	
6	アート活動	宮城県
7	その他.教育の魅力化	
8	フォニックスの普及	
9	学校教育現場への支援	
10	困窮者支援	
11	自治体の地域向け施策の衰退、職員の能力低下への対応	
12	震災風化防止	
13	生涯学習	福島県
14	環境保全	
15	行政区長も兼任しているので地域でのコミュニケーションを大切にしています。	
16	特に優先順位は無い	

② (ウ) 〈新型コロナウイルス感染症に由来する課題〉で現在取り組んでいるもの(最大3つまで) (必須)



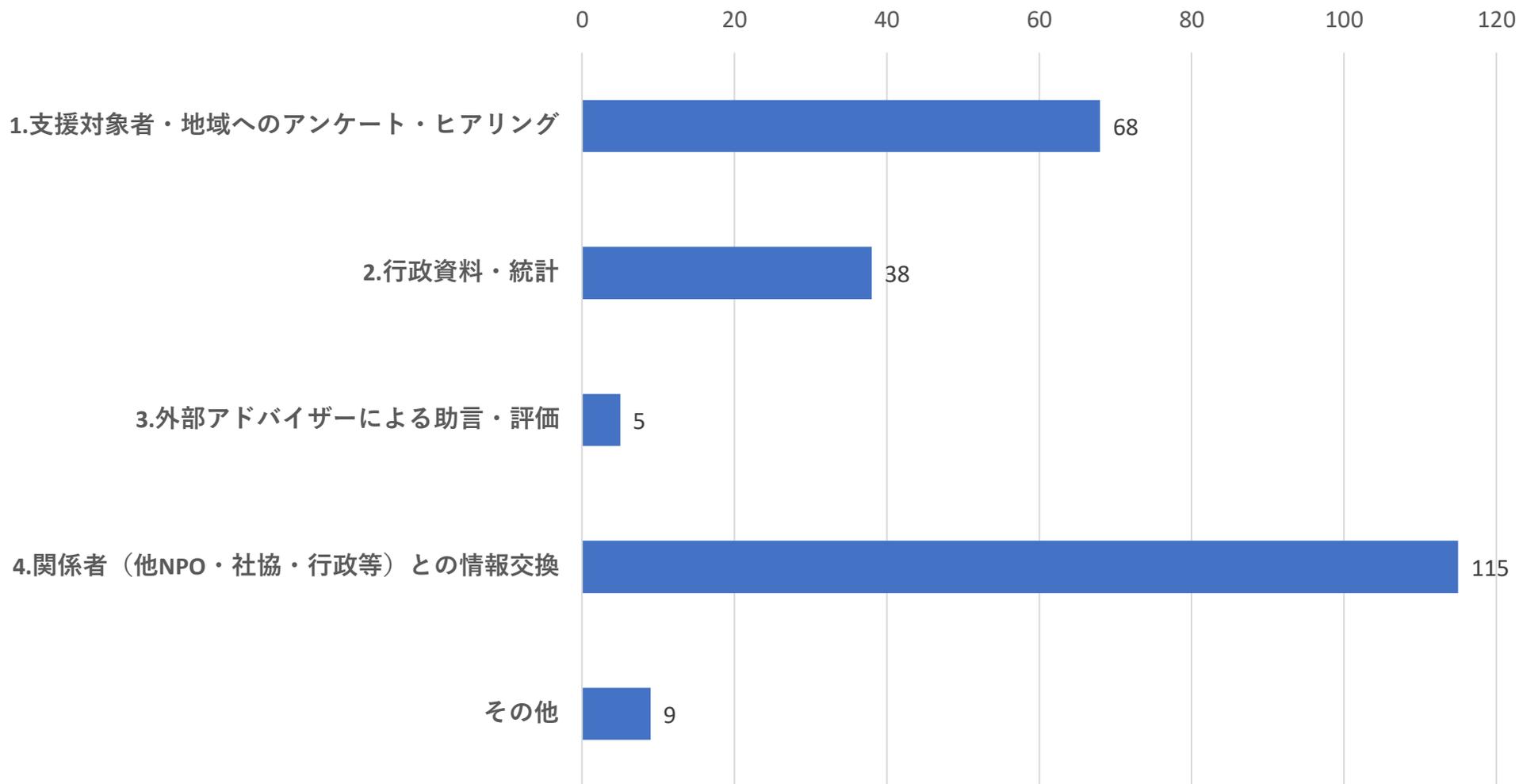
② .(ウ) 〈新型コロナウイルス感染症に由来する課題〉で現在取り組んでいるもの（最大3つまで）（必須）



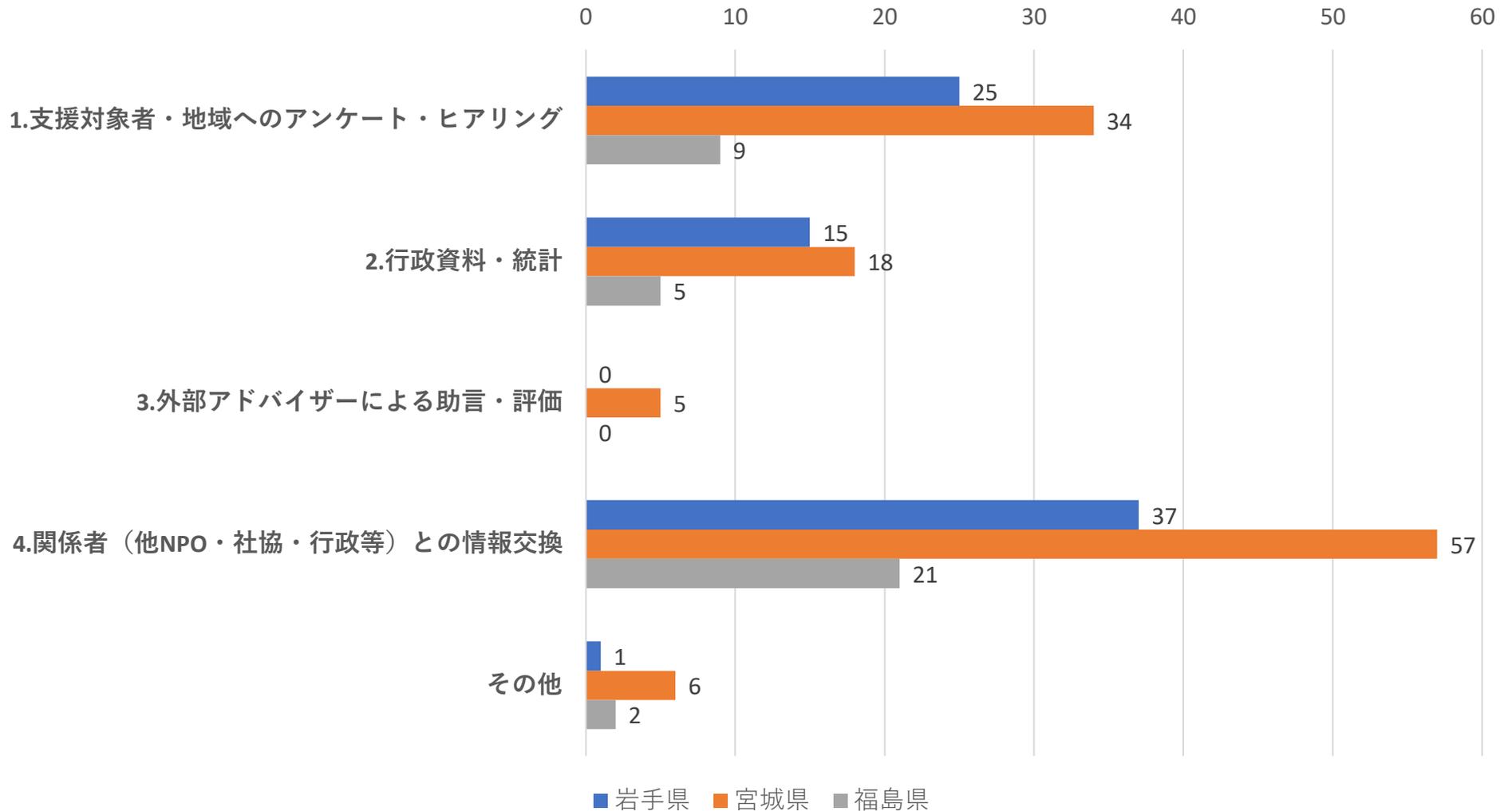
② (ウ) 〈新型コロナウイルス感染症に由来する課題〉で現在取り組んでいるもの(最大3つまで) (必須)

	《その他》	
1	NPOのIT導入	岩手県
2	傾聴	
3	災害公営住宅の自治会設立支援	
4	対面や交流機会の減少による市民活動団体の課題	
5	zoomでの講座開催	宮城県
6	コロナ禍で活動を継続すること	
7	コロナ禍に由来する生活困窮者全般への支援	
8	コロナ解雇の若者支援、育成	
9	その他.オンラインを活用し、居住地域による情報格差の改善に取り組んでいる;	
10	まちづくり活動参画機会の創出	
11	感染予防(アルコール消毒等)	
12	障害者の課題	
13	生涯学習	
14	正しい知識の伝達	福島県
15	特に優先順位は無い	
16	悩み相談	

③ 地域の課題をどのような方法で把握していますか。（複数回答可）（必須）



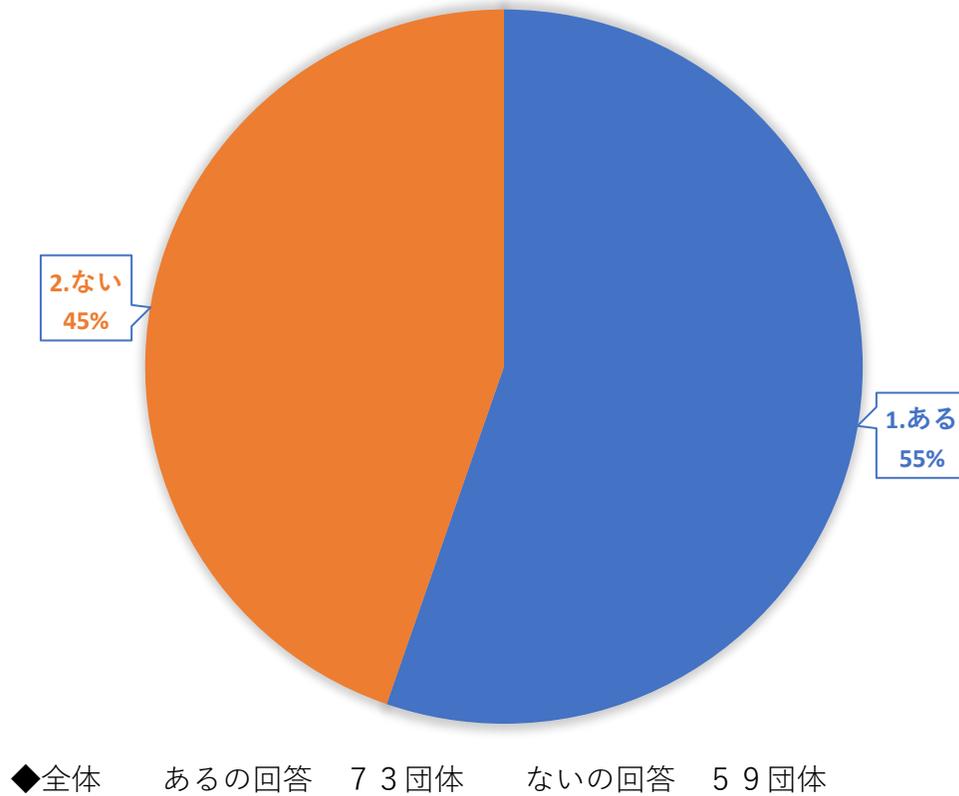
③ 地域の課題をどのような方法で把握していますか。(複数回答可) (必須)



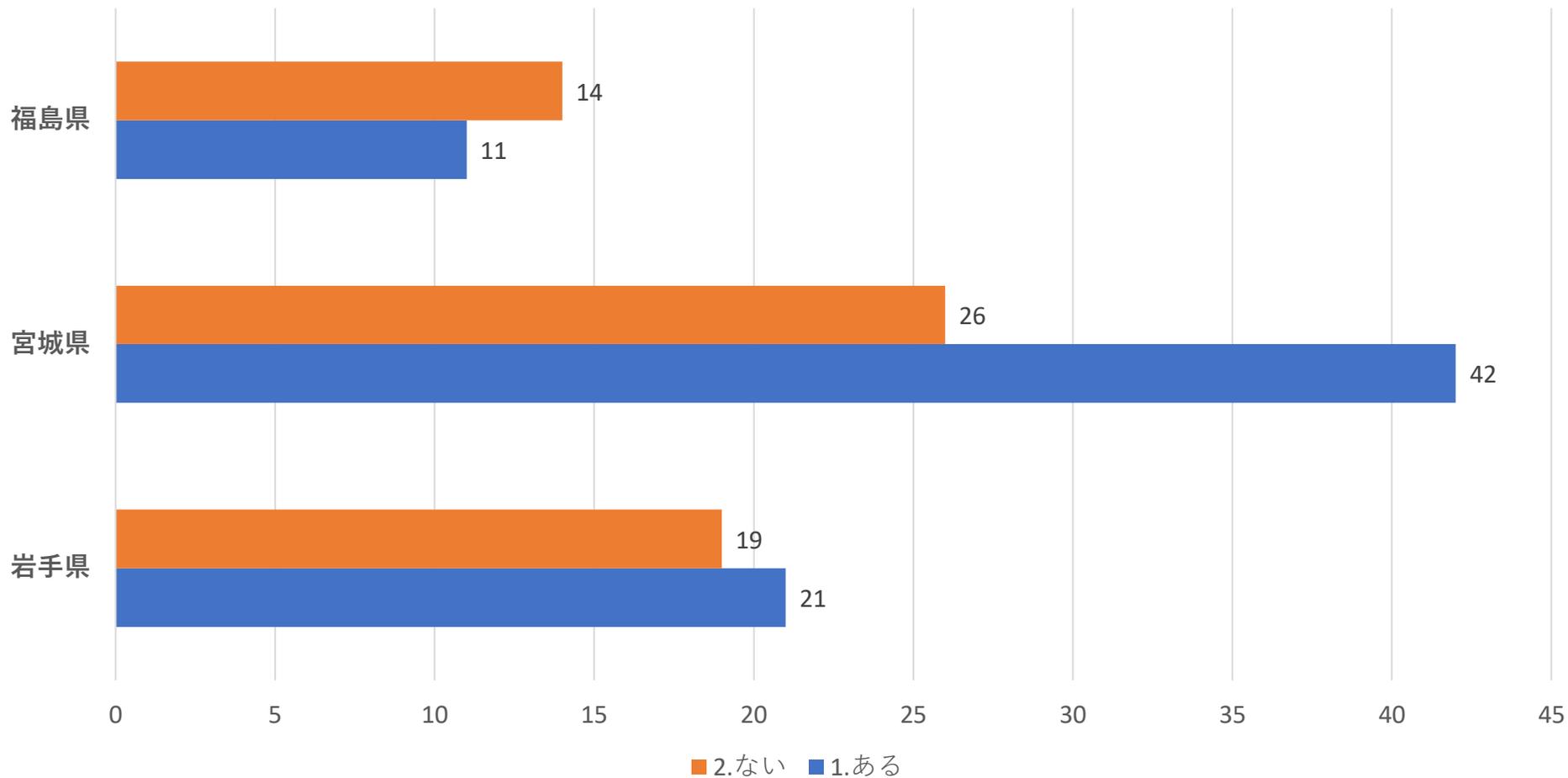
③ 地域の課題をどのような方法で把握していますか。（複数回答可）（必須）

	《その他》	
1	保護者へのアンケート	岩手県
2	教育委員会との連携	宮城県
3	住民との会話	
4	相談窓口の設置	
5	対面相談	
6	当事者や関係者による話し合い	
7	把握できていない	
8	住民への訪問活動	福島県
9	地域の行政区長との話し合い	

④ 貴団体と同じ課題に取り組んでいる組織・団体は地域内にありますか。(必須)

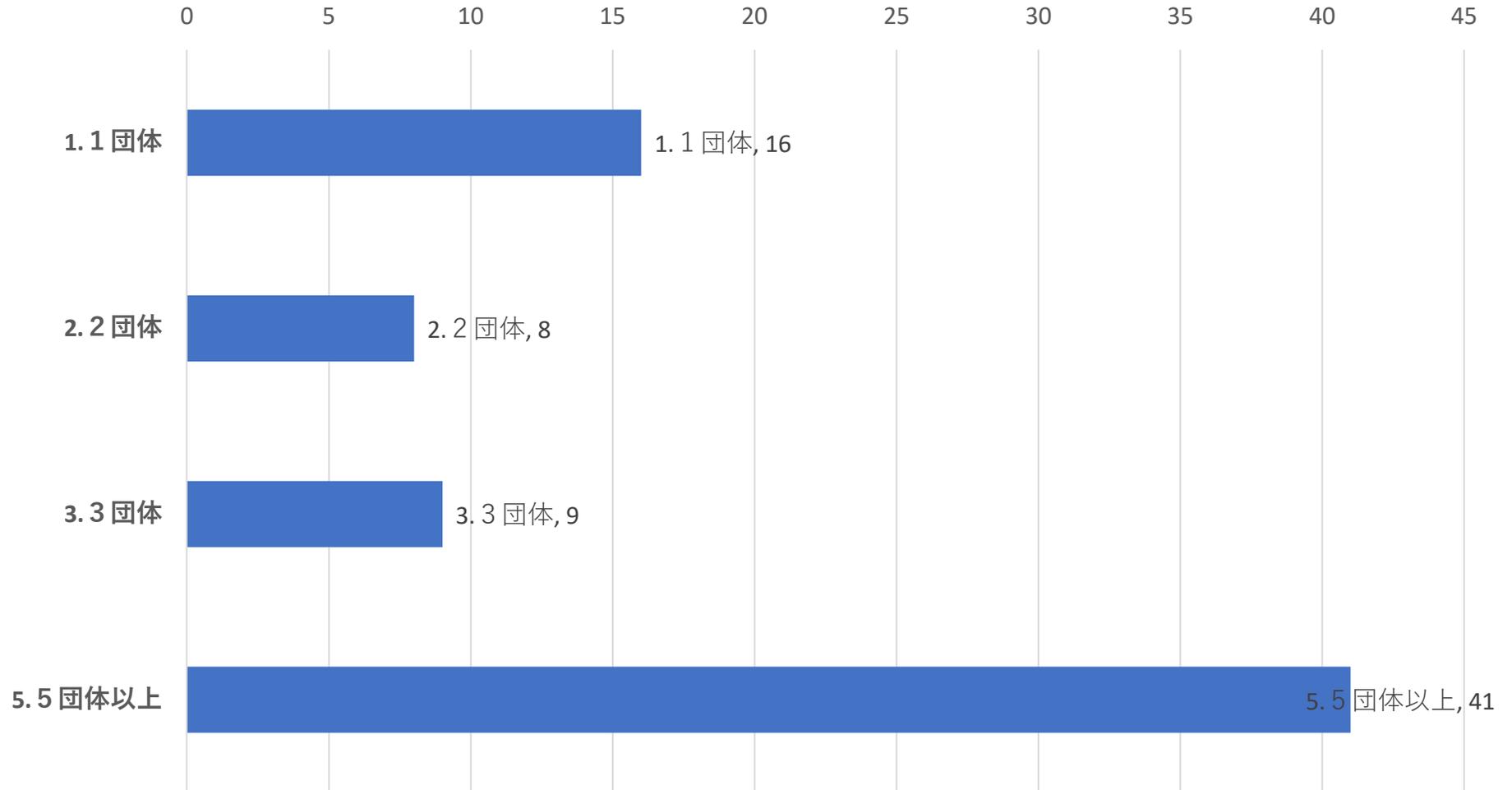


④ 貴団体と同じ課題に取り組んでいる組織・団体は地域内にありますか。(必須)



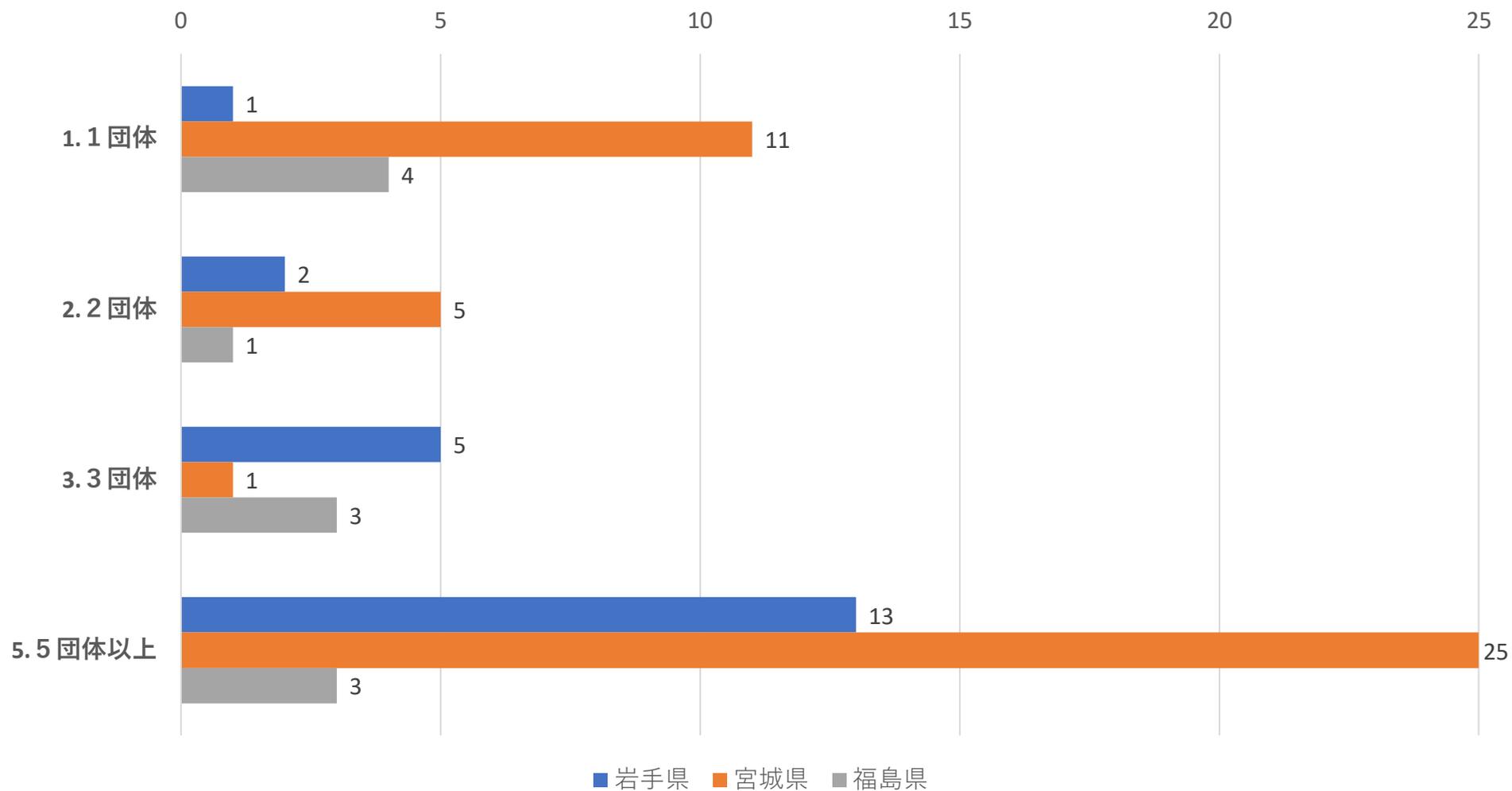
⑤ 組織・団体数を1つお選びください。(必須)

※③.貴団体と同じ課題に取り組んでいる組織・団体は地域内にあるの回答した73団体のみ回答

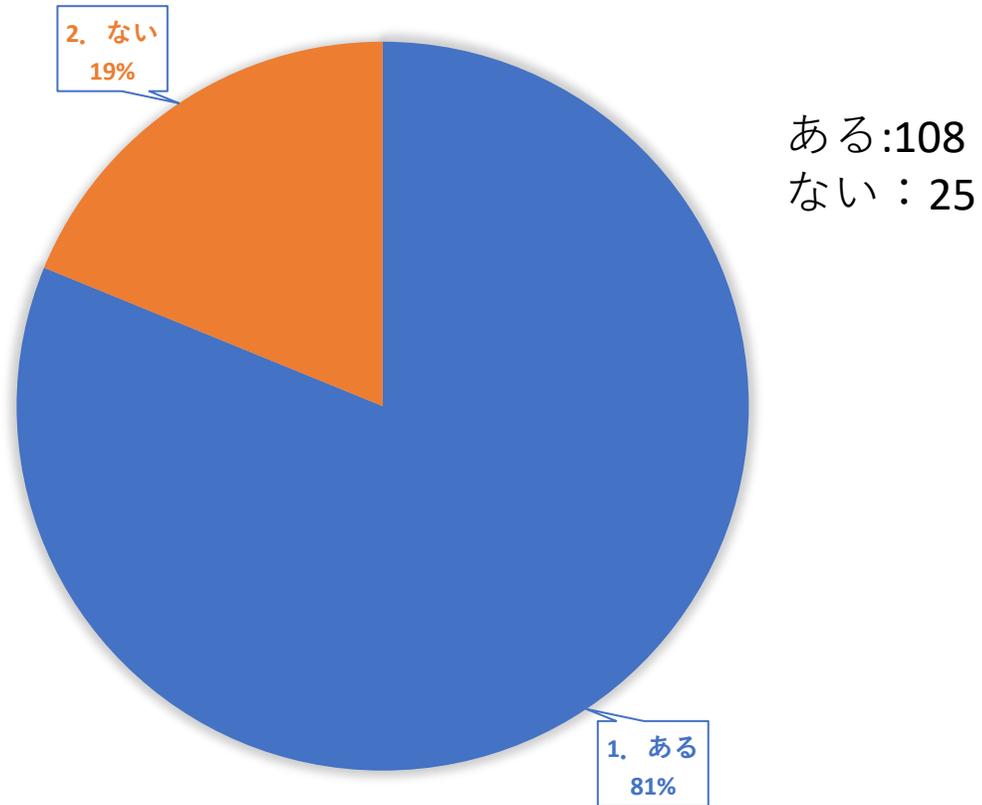


⑤ 組織・団体数を1つお選びください。(必須)

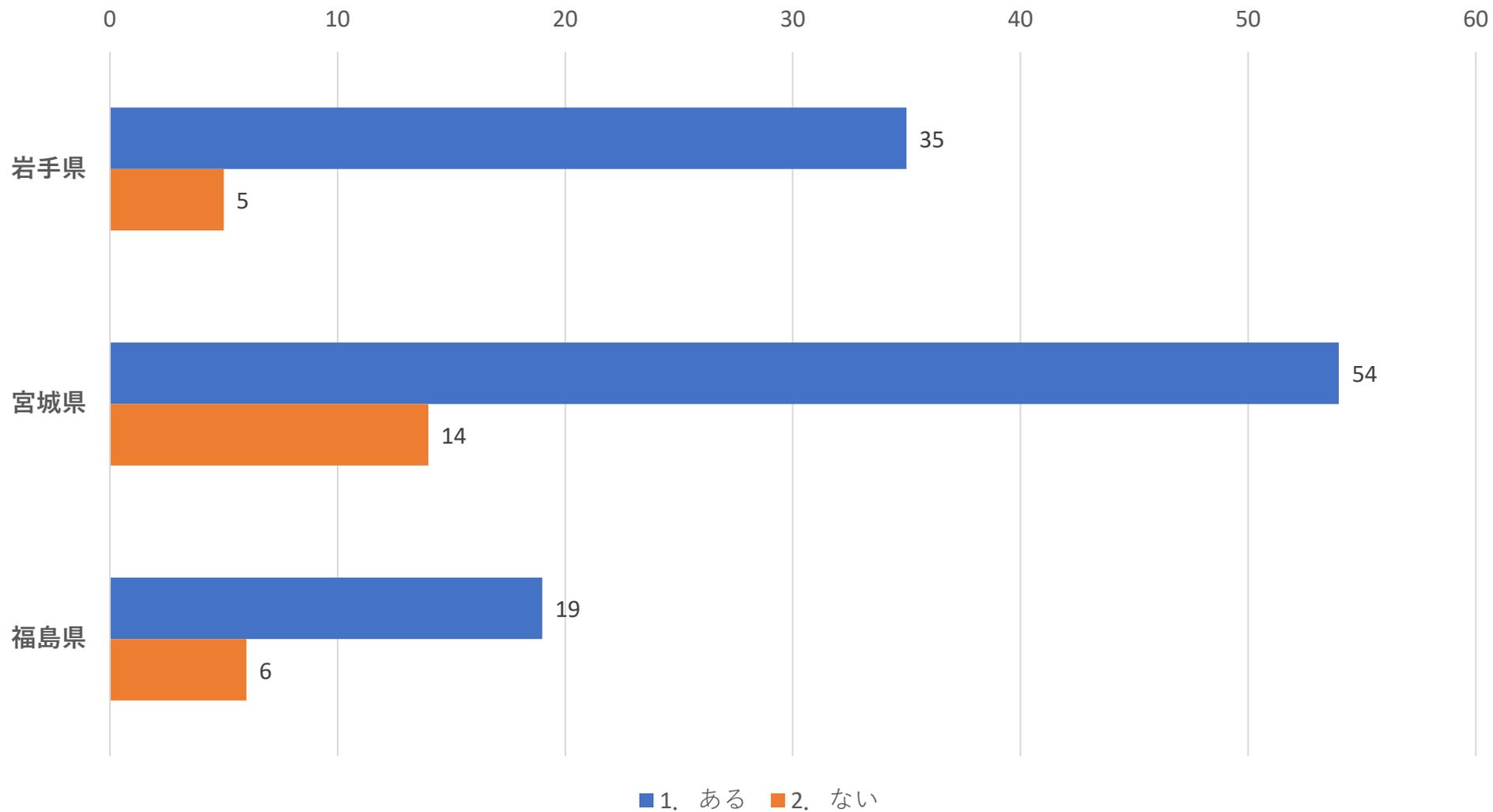
※③貴団体と同じ課題に取り組んでいる組織・団体は地域内にあるの回答した73団体のみ回答



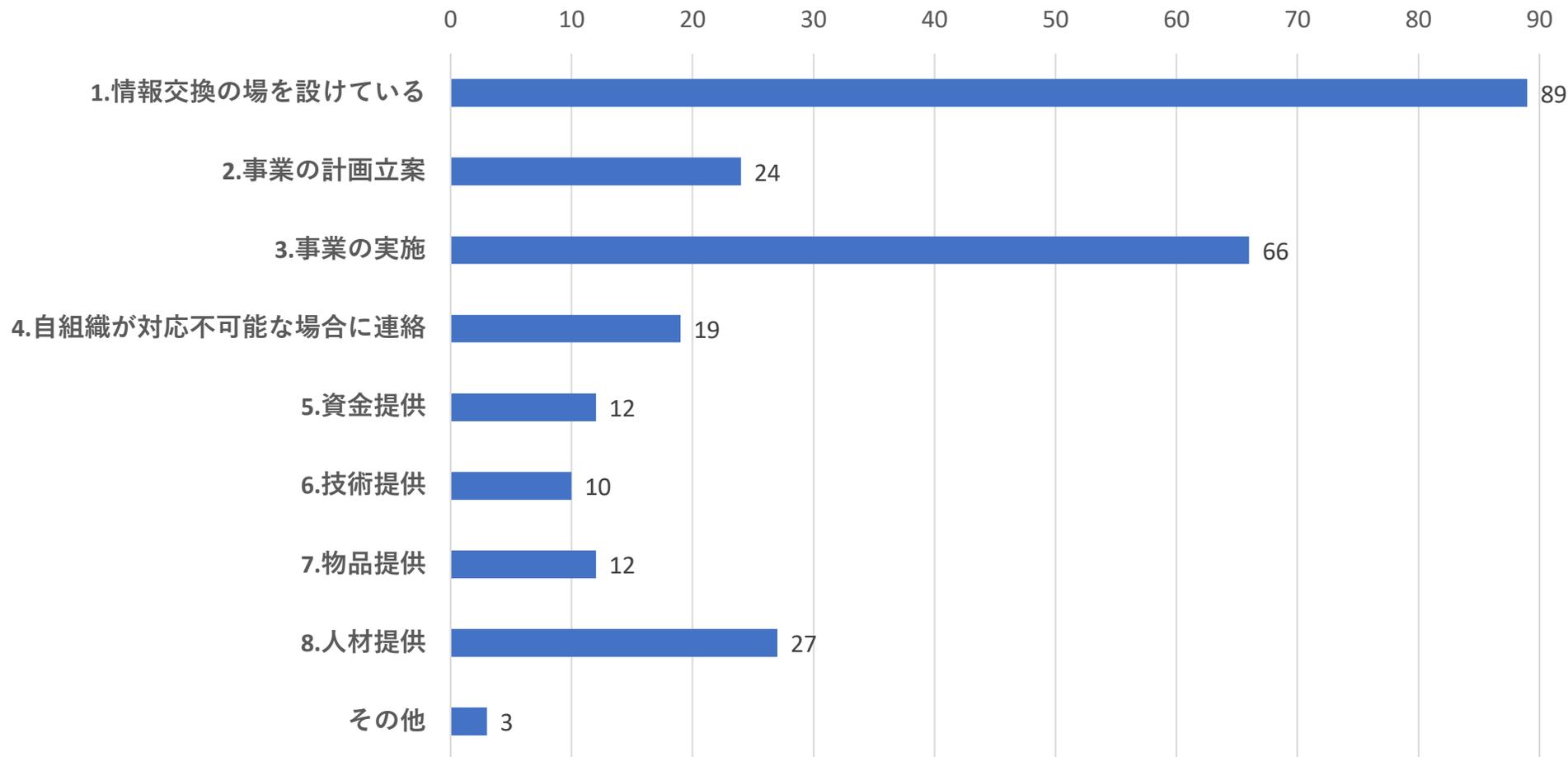
⑥ 課題解決に向けた取り組み（事業）で連携・協働している関係組織はありますか。（必須）



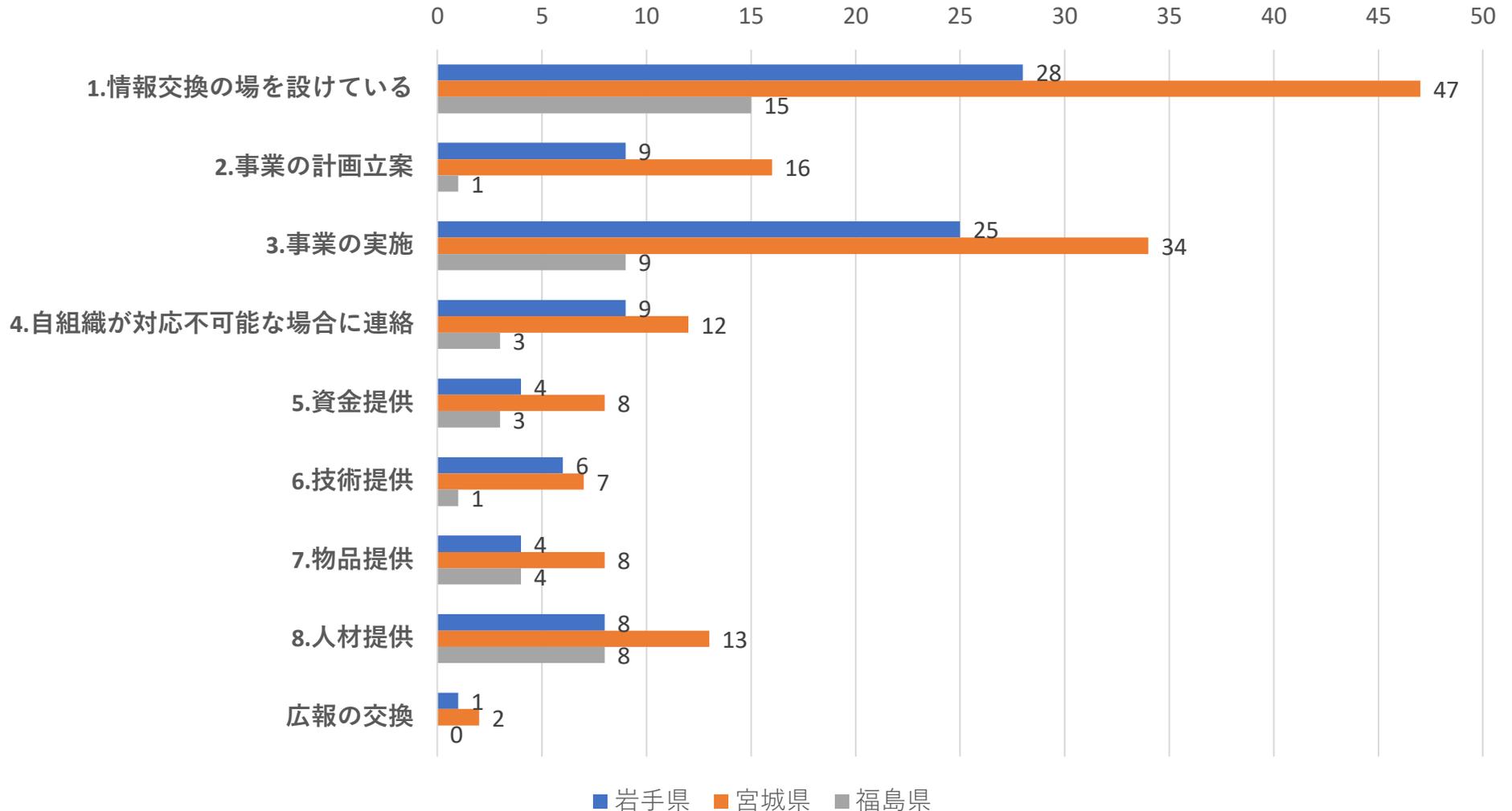
⑥ 課題解決に向けた取り組み（事業）で連携・協働している関係組織はありますか。（必須）



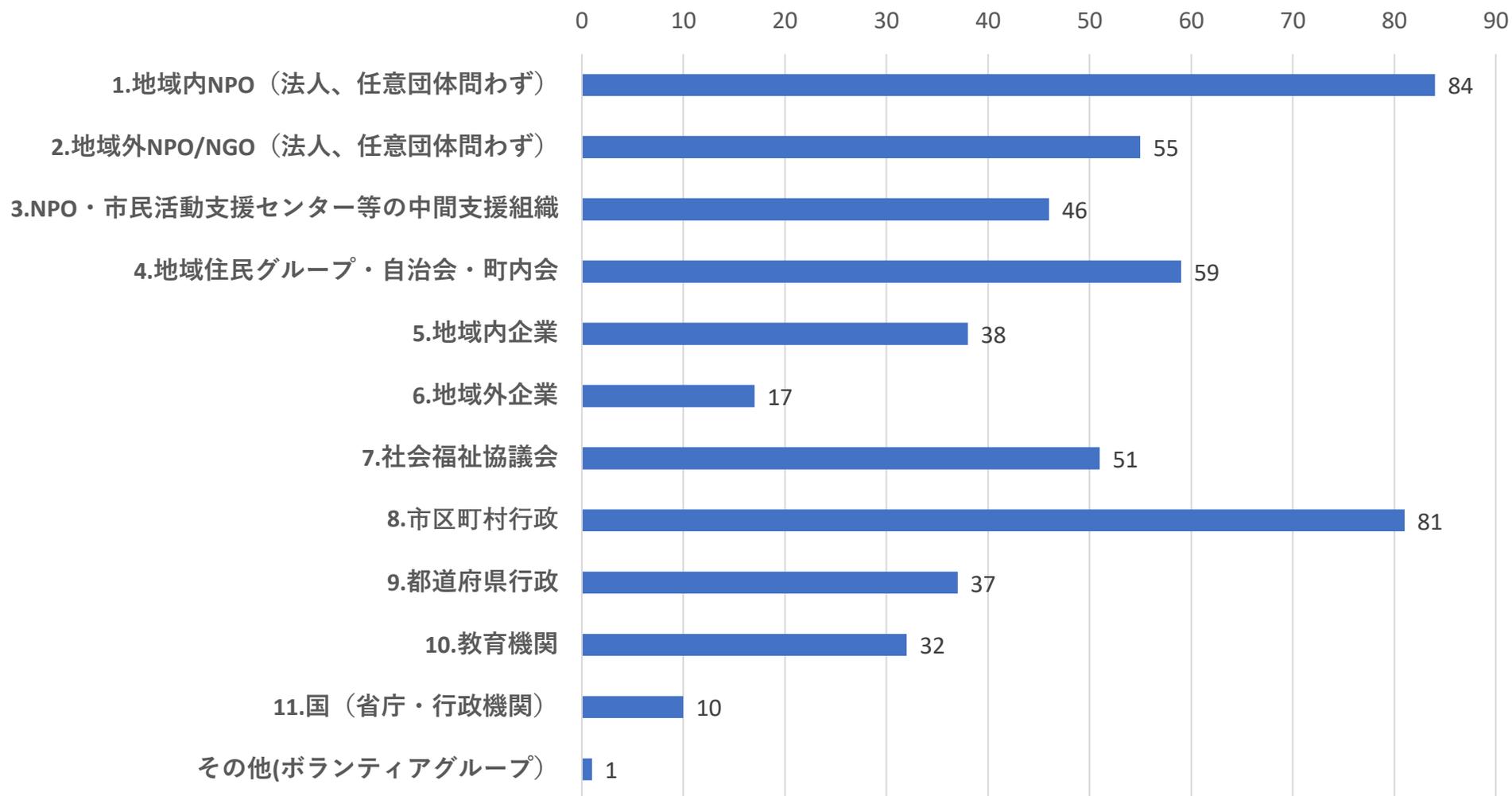
⑦ 連携・協働している関係組織とどのような連携をしていますか。（複数回答可）（必須）
※⑥ 課題解決に向けた取り組み（事業）で連携・協働している関係組織はある108団体のみ回答



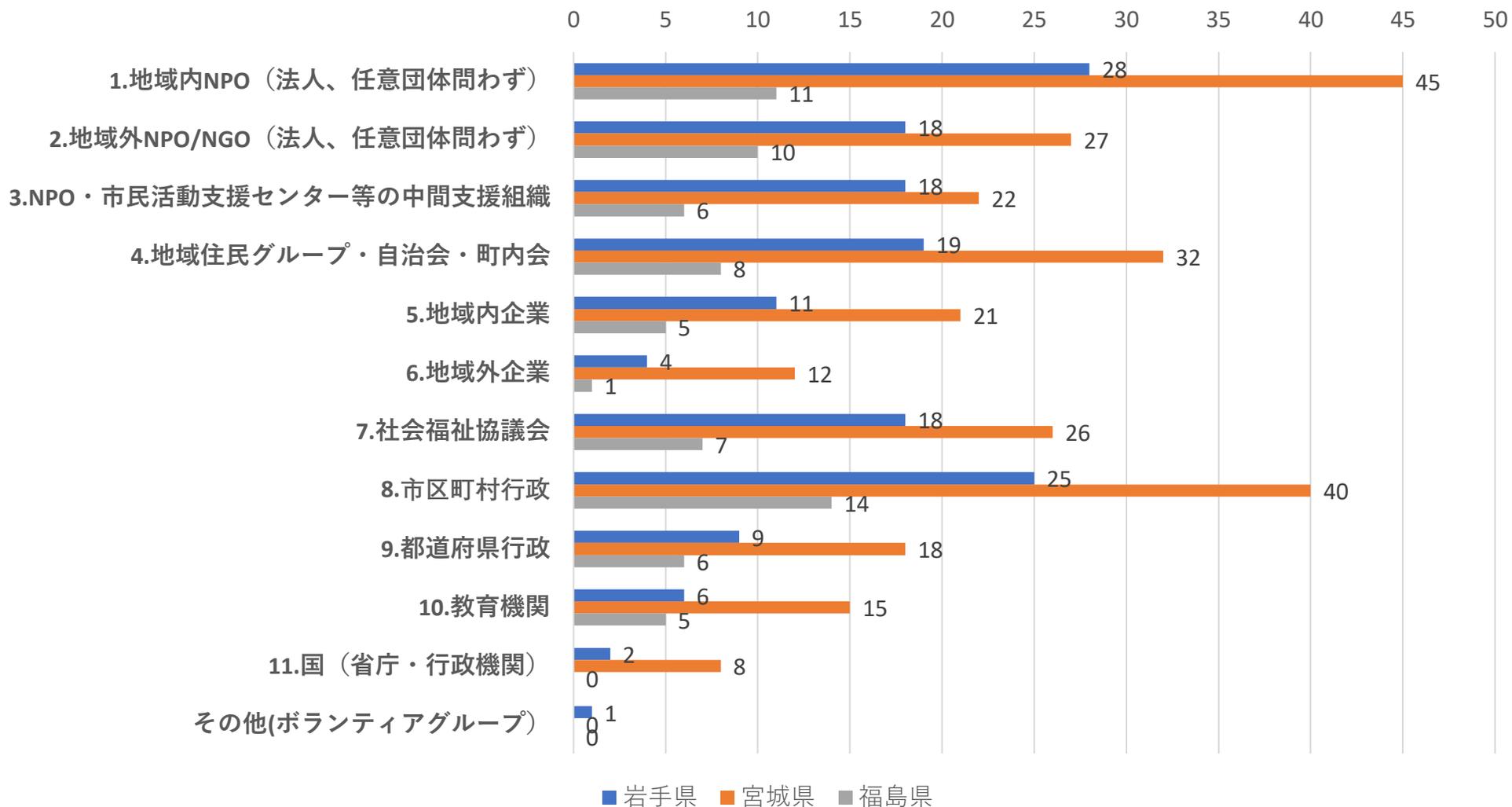
⑦ 連携・協働している関係組織とどのような連携をしていますか。(複数回答可) (必須)
 ※⑥ 課題解決に向けた取り組み(事業)で連携・協働している関係組織はある108団体のみ回答



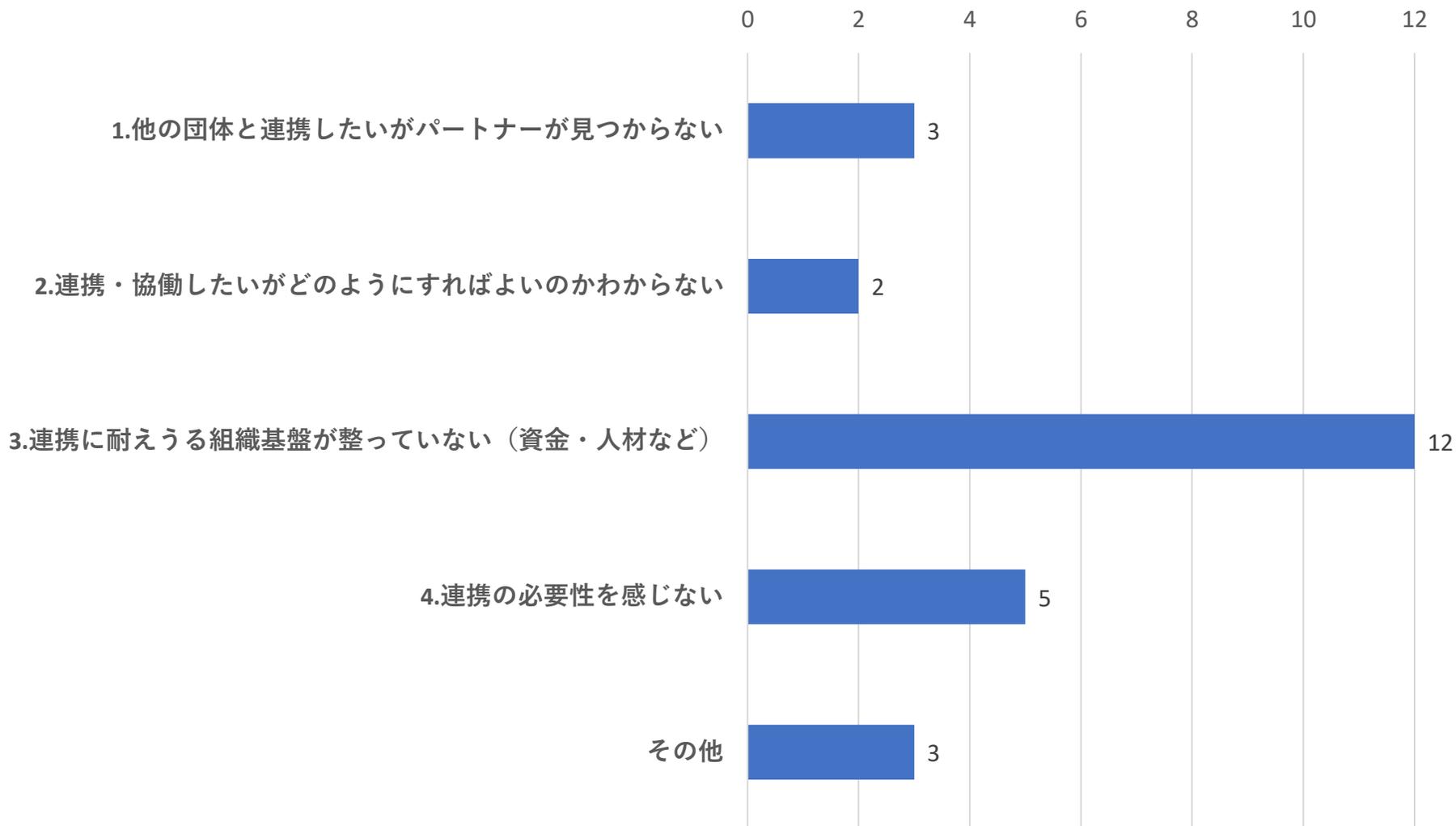
⑧ 連携・協働している関係組織をすべてお選びください。（複数回答可）（必須）
※⑥ 課題解決に向けた取り組み（事業）で連携・協働している関係組織はある108団体のみ回答



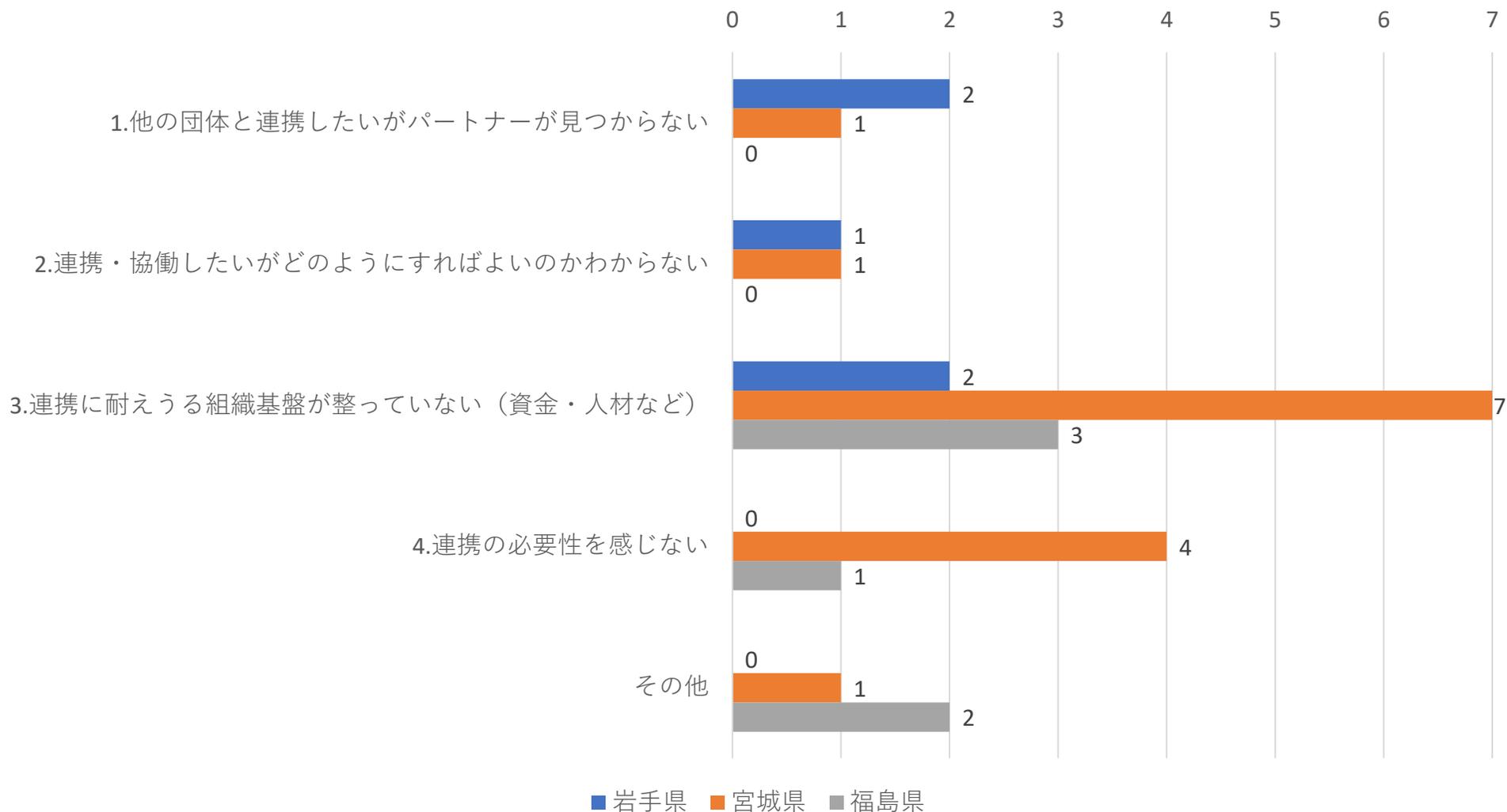
⑧ 連携・協働している関係組織をすべてお選びください。（複数回答可）（必須）
 ※⑥ 課題解決に向けた取り組み（事業）で連携・協働している関係組織はある108団体のみ回答



- ⑨ 課題解決に向けた取り組み（事業）で連携・協働している関係組織が「ない」理由を1つお選びください。（必須）
※⑥ 課題解決に向けた取り組み（事業）で連携・協働している関係組織はない25団体のみ回答



- ⑨ 課題解決に向けた取り組み（事業）で連携・協働している関係組織が「ない」理由を1つお選びください。（必須）
※⑥ 課題解決に向けた取り組み（事業）で連携・協働している関係組織はない25団体のみ回答

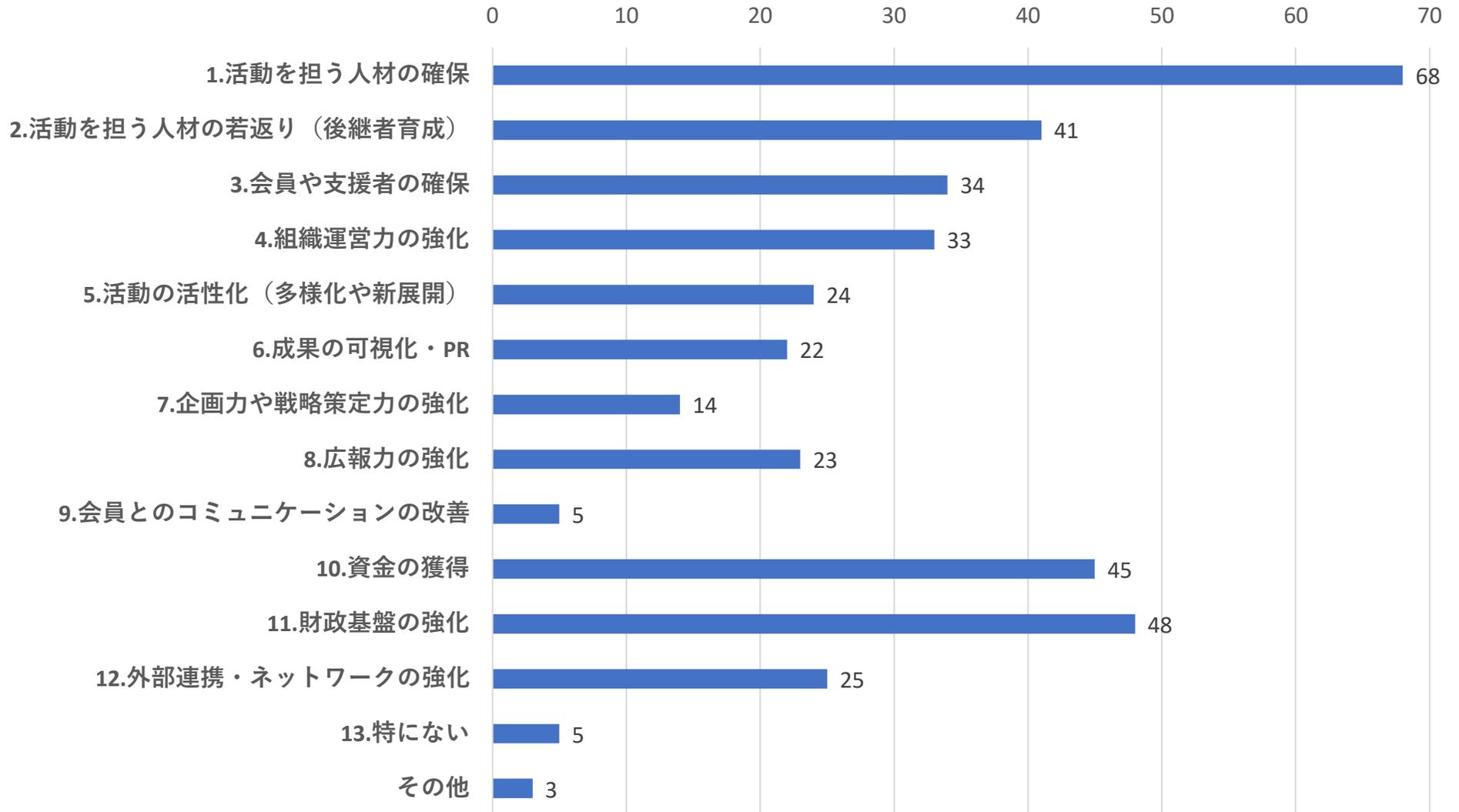


- ⑨ 課題解決に向けた取り組み（事業）で連携・協働している関係組織が「ない」理由を1つお選びください。（必須）
※⑥ 課題解決に向けた取り組み（事業）で連携・協働している関係組織はない25団体のみ回答

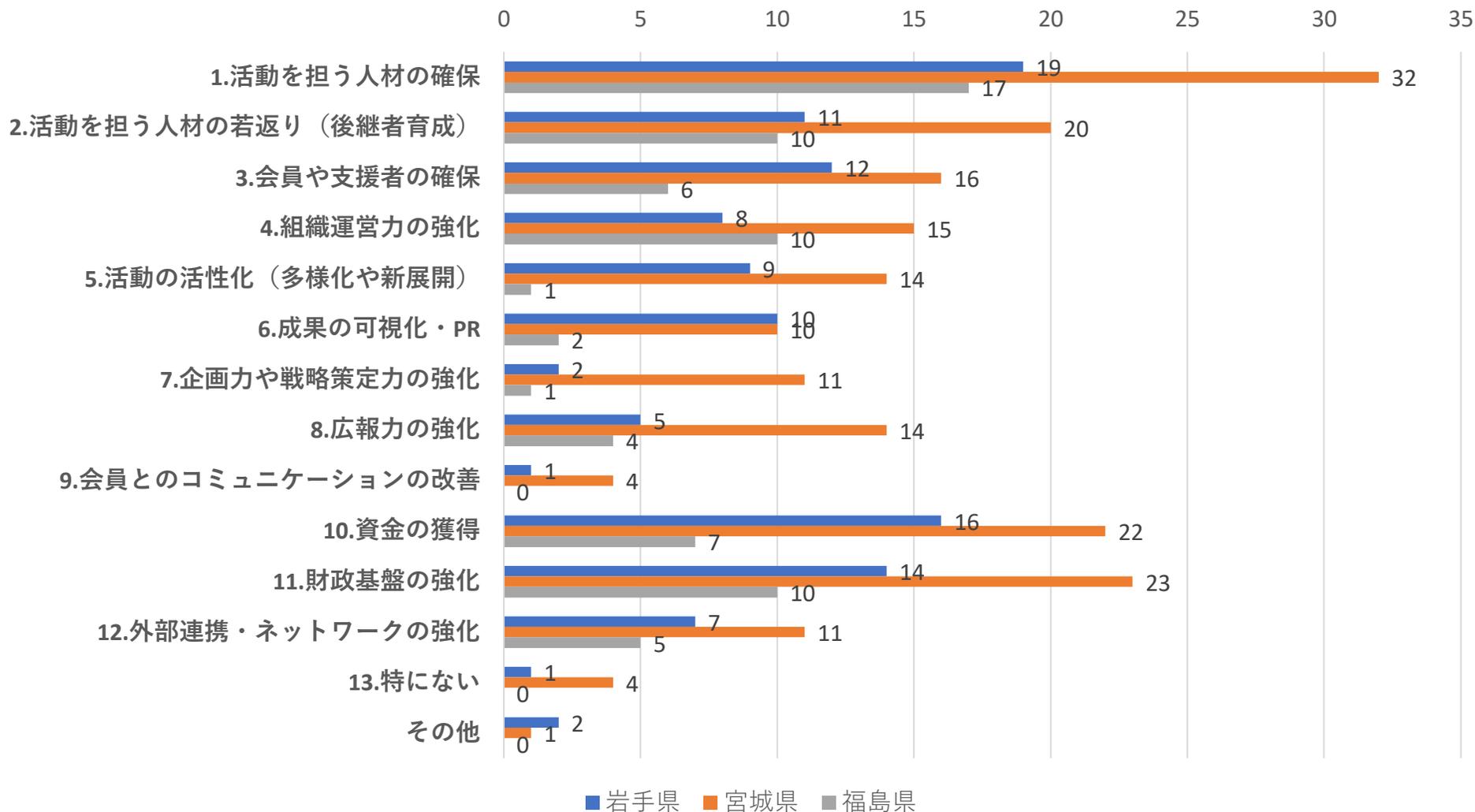
	《その他》	
1	これから繋げたい。	宮城県
2	同じ活動をしている所がない	福島県
3	理事役員が、体調不良や親の介護などで、集まって活動ができない状態と連携取る団体がいない。	

Ⅱ. 法人運営上の課題について

⑩ 貴団体が抱える団体運営上の課題にはどのようなものがありますか？
優先順に3つまで選んでください。（複数回答可）（必須）



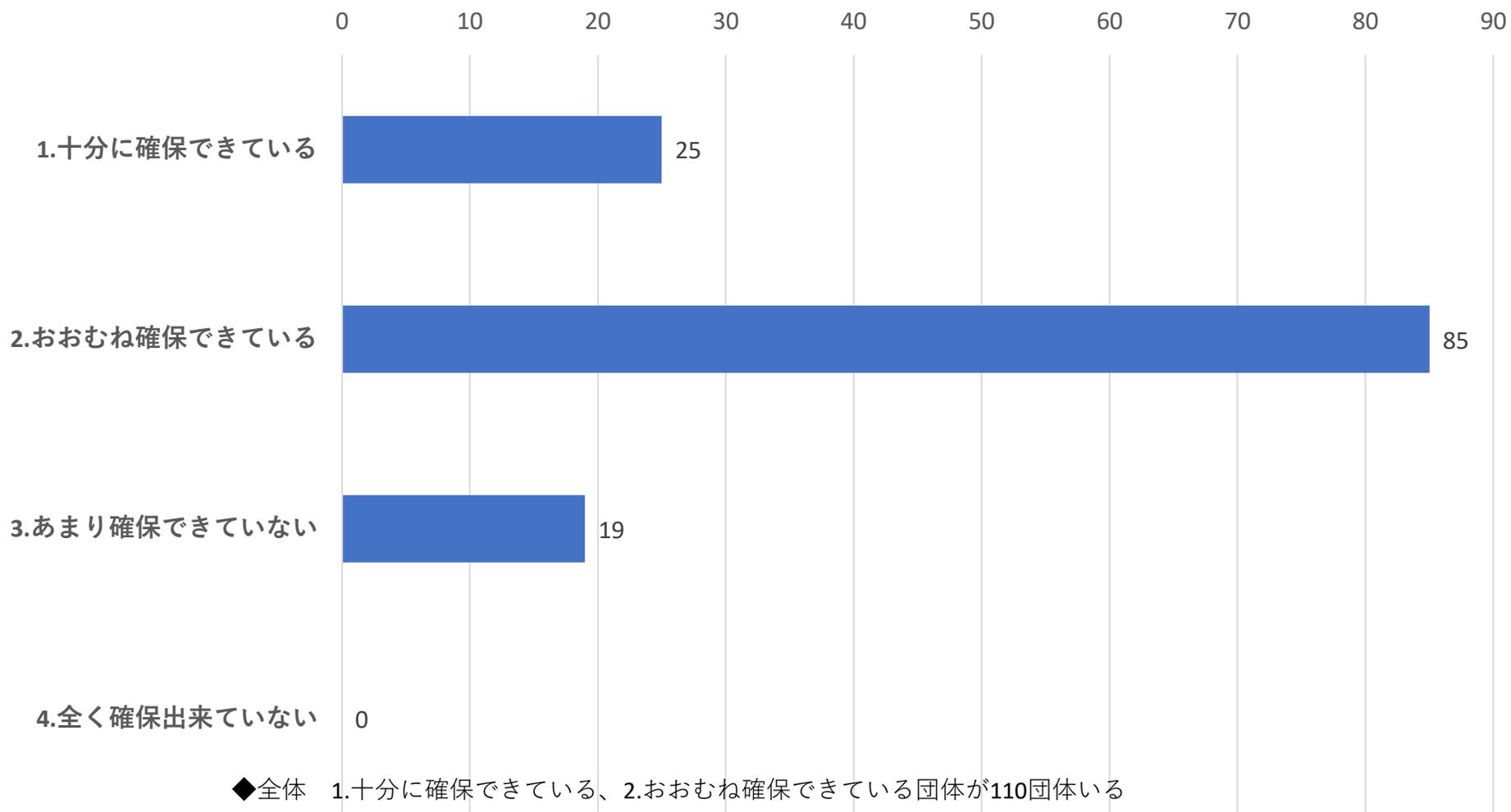
⑩ 貴団体が抱える団体運営上の課題にはどのようなものがありますか？優先順に3つまで選んでください。
 (複数回答可) (必須)



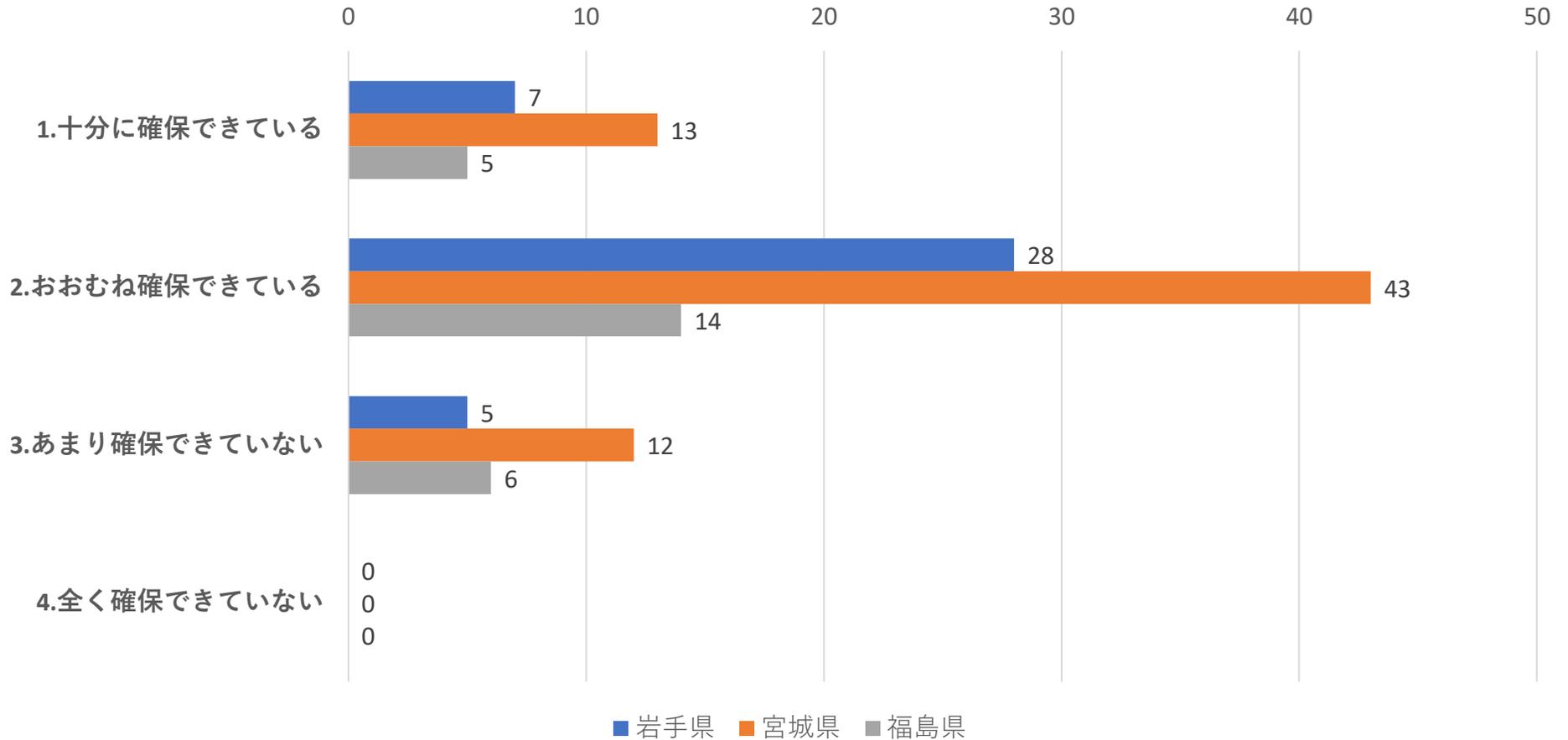
- ⑩ 貴団体が抱える団体運営上の課題にはどのようなものがありますか？優先順に3つまで選んでください。
(複数回答可) (必須)

	《その他》	
1	スタッフの育成	岩手県
2	後継者不足	
3	新規事業開拓力	宮城県

⑪ 会計・労務・所轄庁への提出書類の作成など、法人運営を行う上で必要な事務処理の知識やスキルは十分に確保できていますか。(必須)



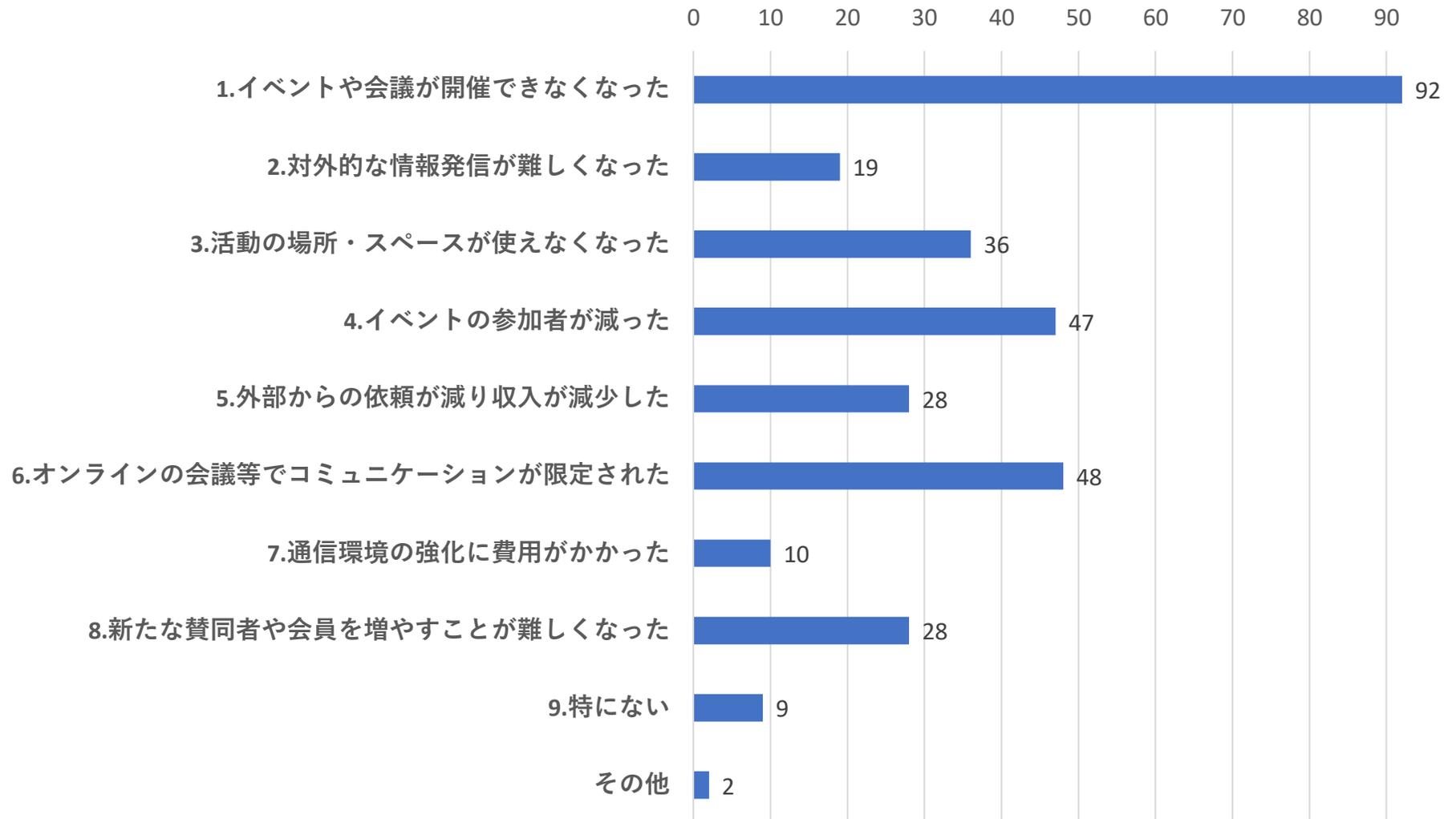
⑪.会計・労務・所轄庁への提出書類の作成など、法人運営を行う上で必要な事務処理の知識やスキルは十分に確保できていますか。(必須)



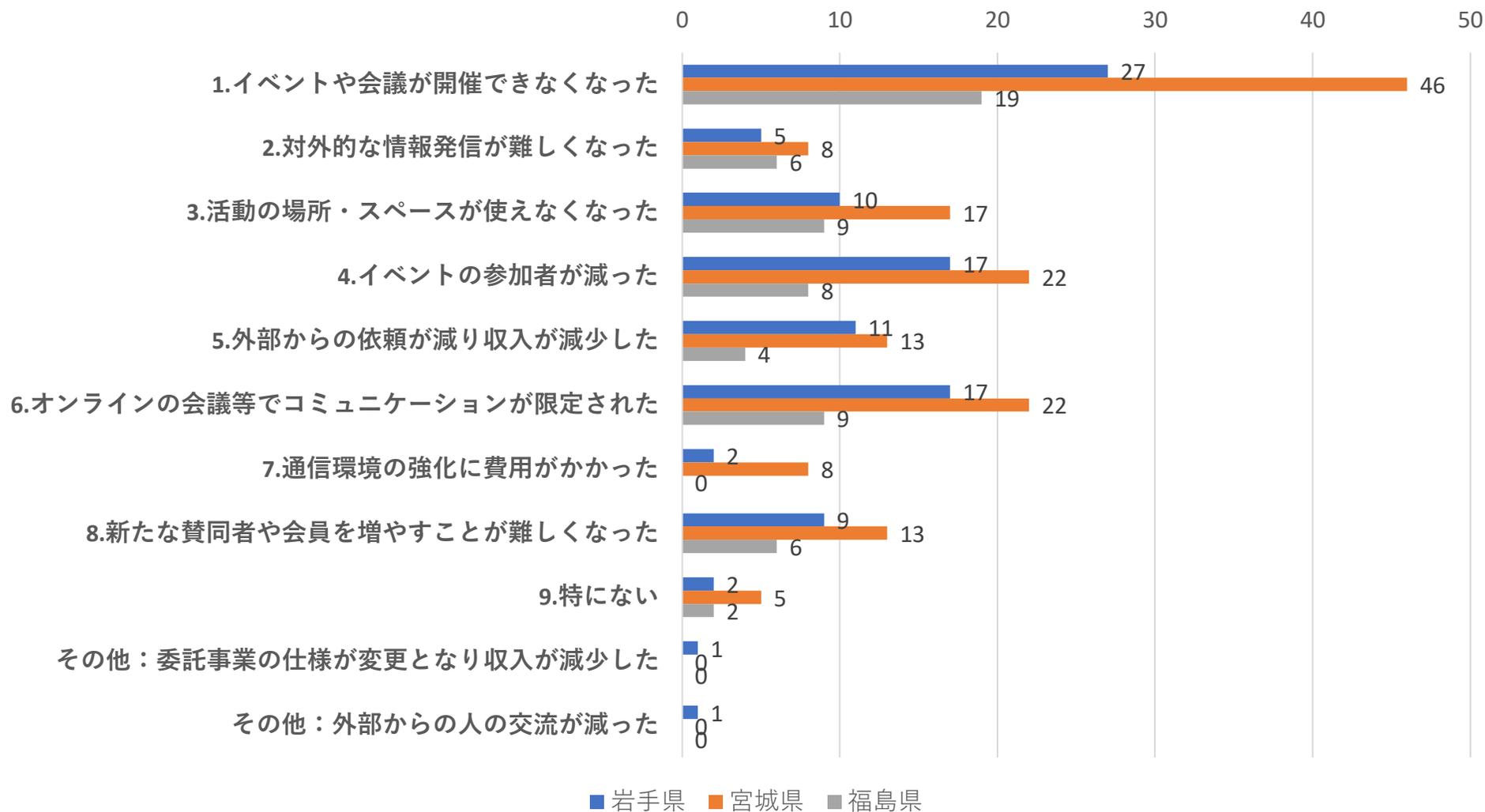
◆県別 岩手・宮城・福島ともに2.おおむね確保できている団体が一番多い一方で福島では3.あまり確保できていない団体が1.十分に確保できている団体数を上回っている。

Ⅲ. 新型コロナウイルス 感染症拡大の影響について

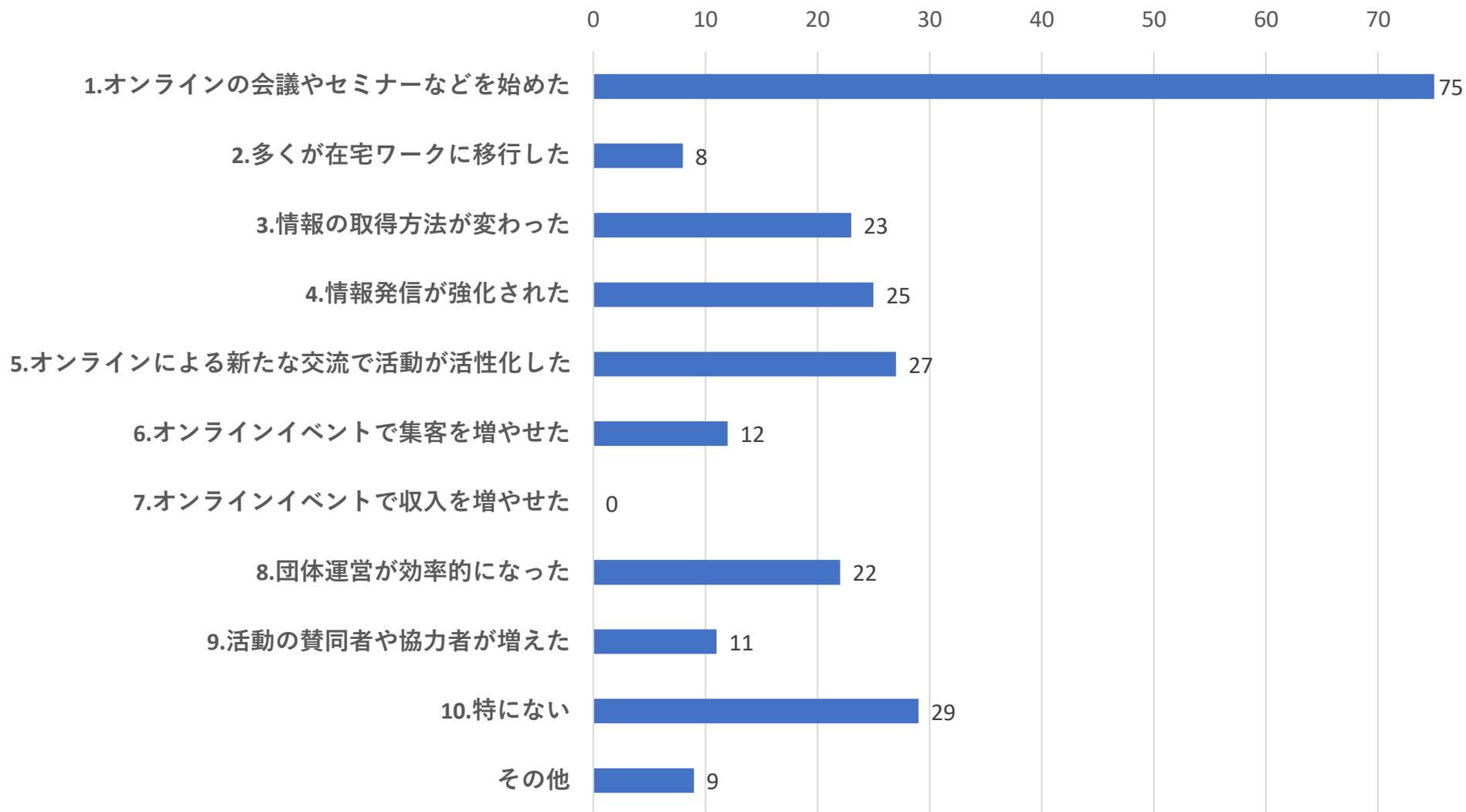
⑫ 新型コロナウイルス感染症の拡大により、貴団体の活動は現在どのような影響を受けていますか。
(複数回答可) (必須)



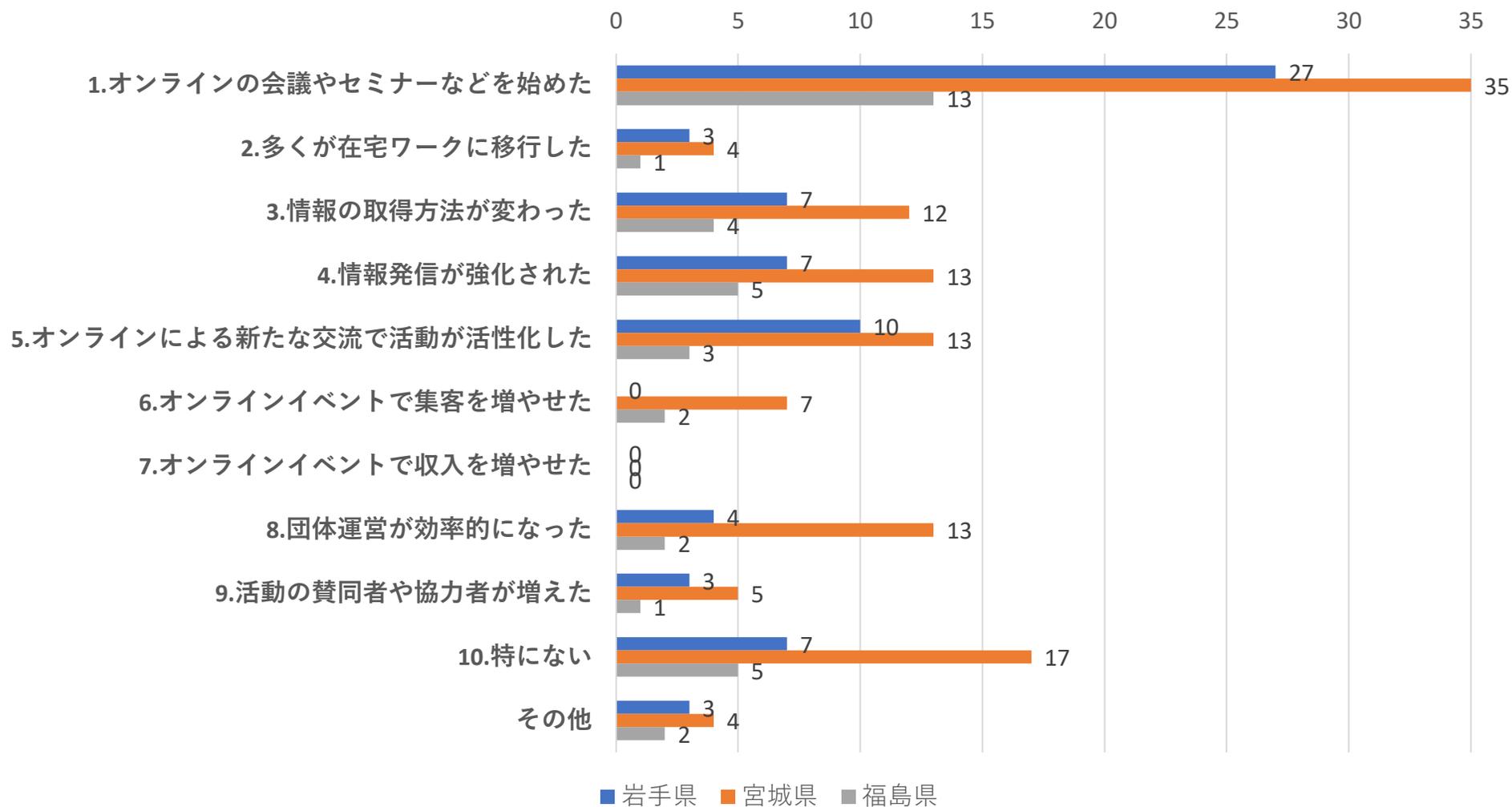
⑫ 新型コロナウイルス感染症の拡大により、貴団体の活動は現在どのような影響を受けていますか。
(複数回答可) (必須)



⑬ 新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に、貴団体が新たに始めたことやポジティブな変化はありましたか。（複数回答可）（必須）



⑬ 新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に、貴団体が新たに始めたことやポジティブな変化はありましたか。（複数回答可）（必須）

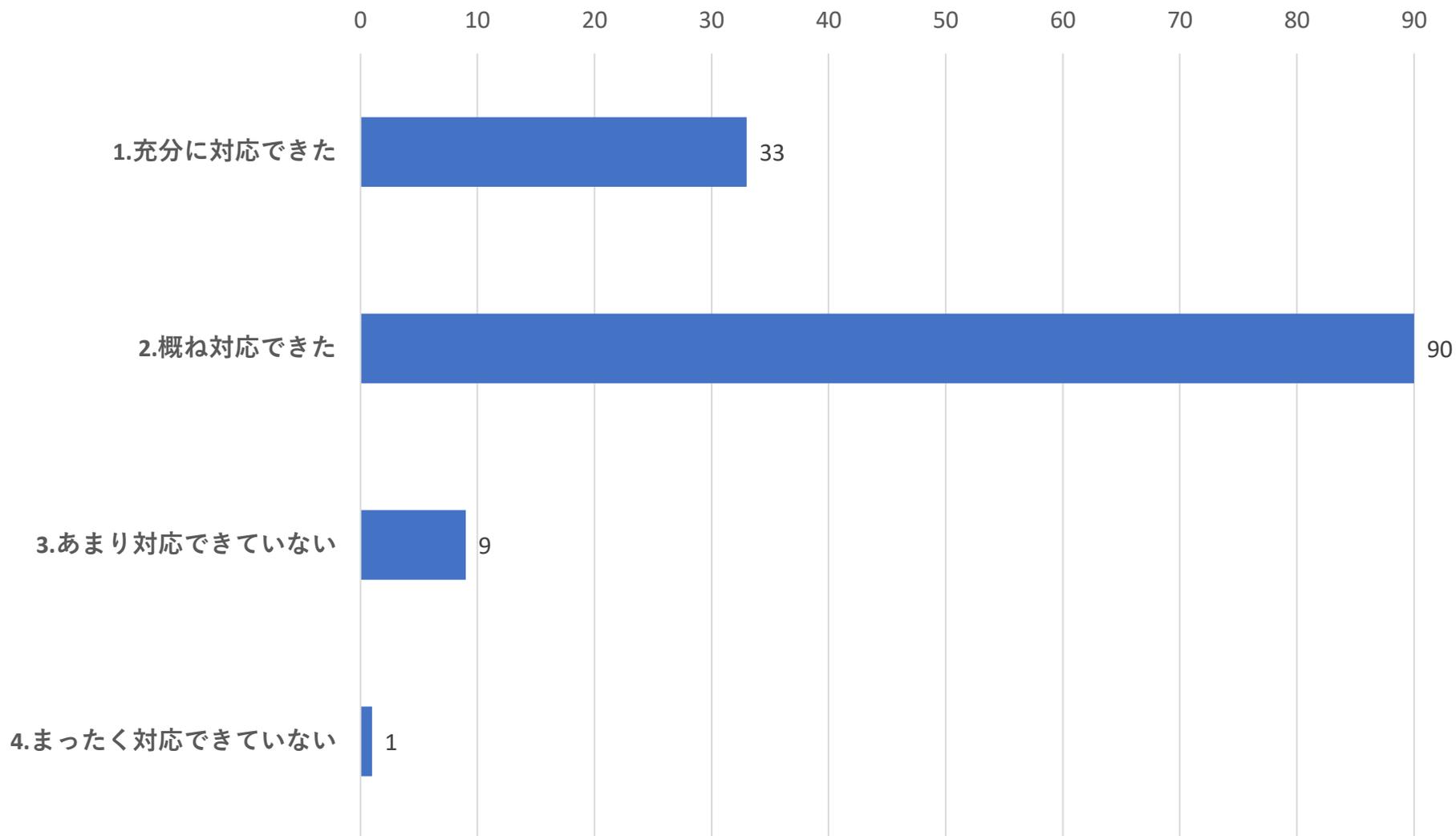


⑬ 新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に、貴団体が新たに始めたことやポジティブな変化はありましたか。（複数回答可）（必須）

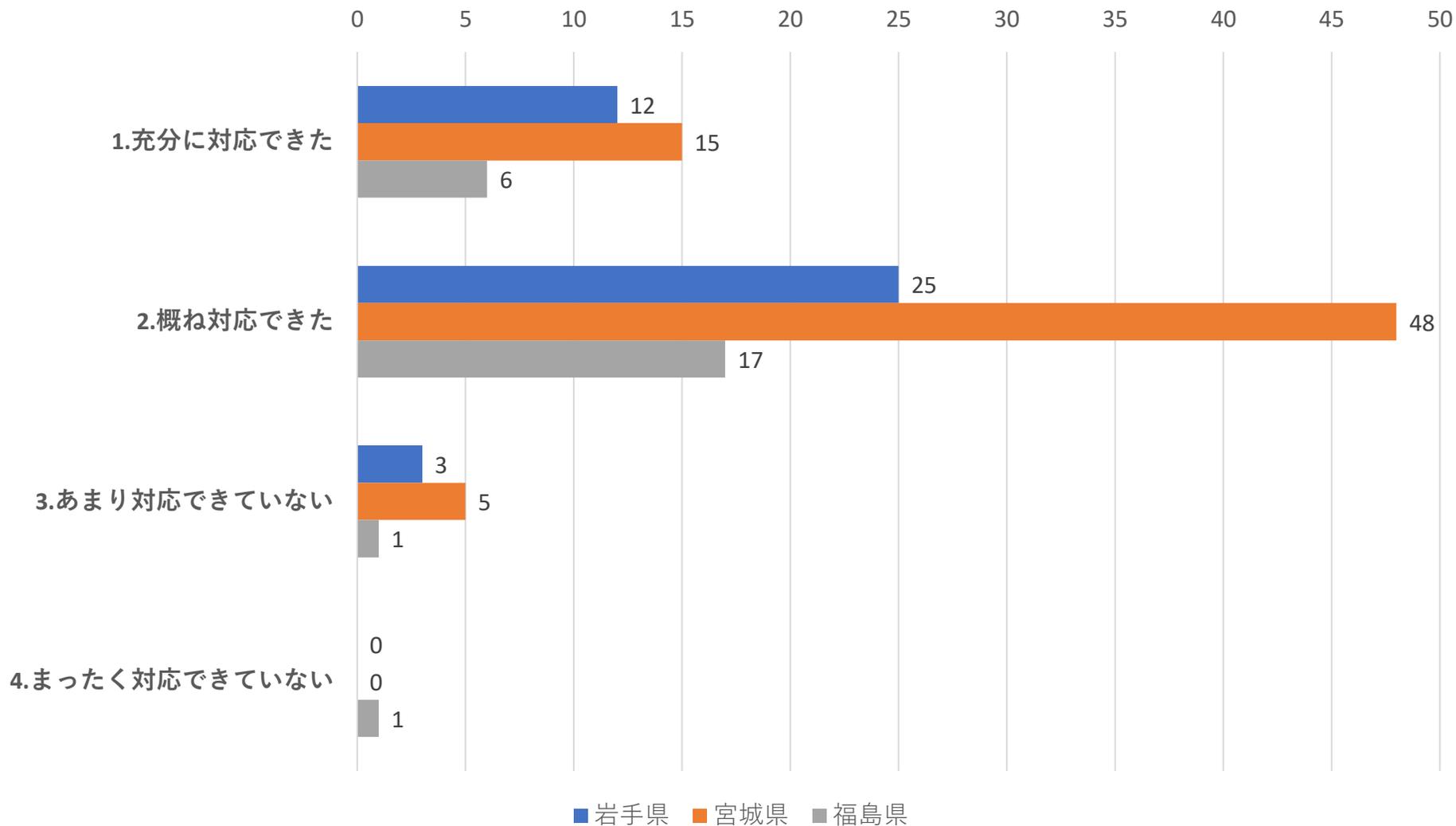
	《その他》	
1	活動の多角化	岩手県
2	時間に余裕ができ、自分たち活動の見直しや環境整備ができた	
3	立ち止まり、事業方針を再度検討できた。	
4	何もできなくなった	宮城県
5	活動内容・事業規模を見直すきっかけになった	
6	新規事業が立ち上がった	
7	オンラインで情報収集した。	
8	交流館に入れる人数を制限（40分間隔で入替）	福島県
9	食事をテイクアウトにした。	

IV. 新型コロナウイルス感染 拡大防止への対応について

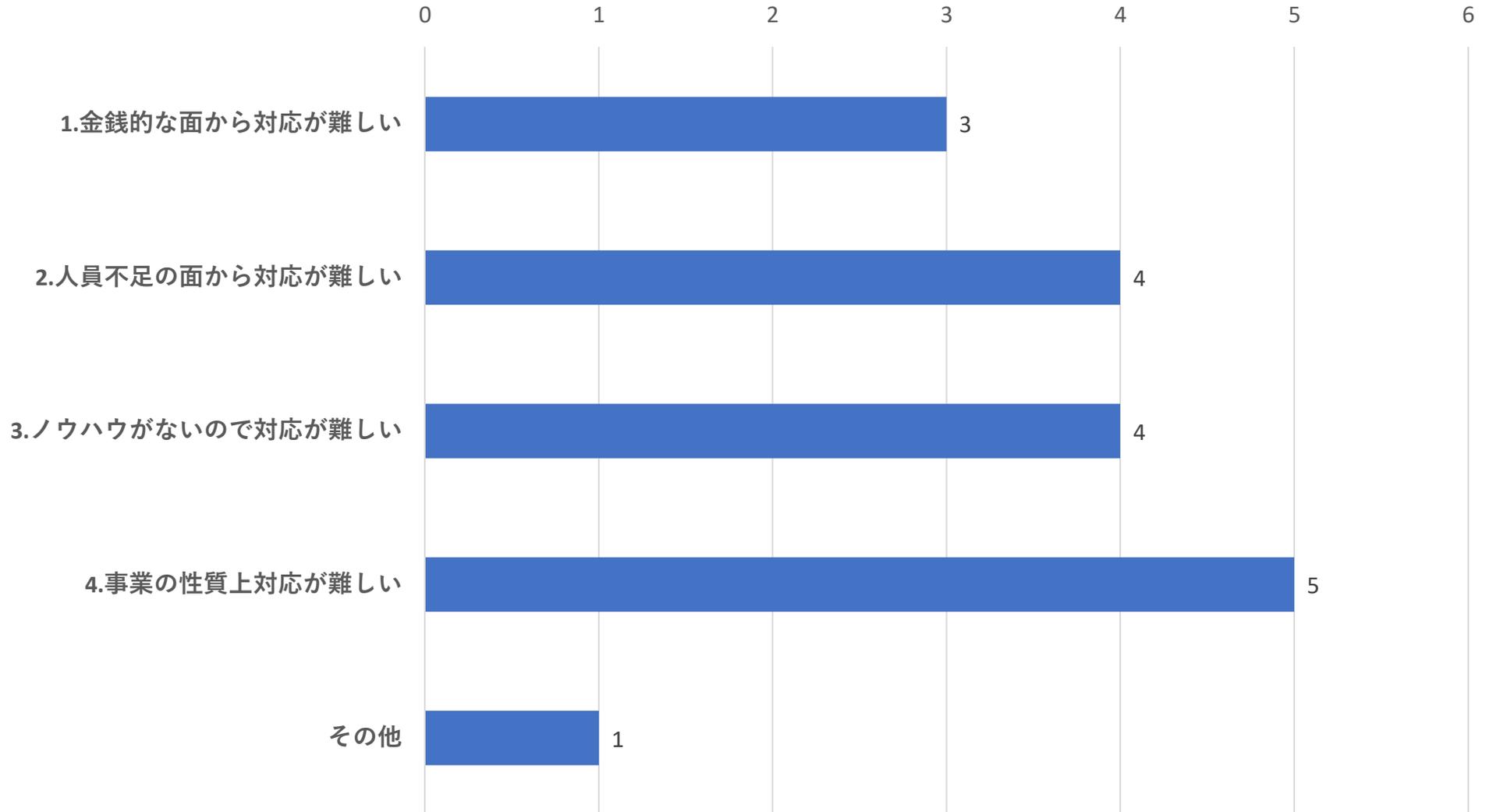
⑭ 貴団体の活動において「新型コロナウイルス感染拡大防止」への対応を十分に行えましたか。(必須)



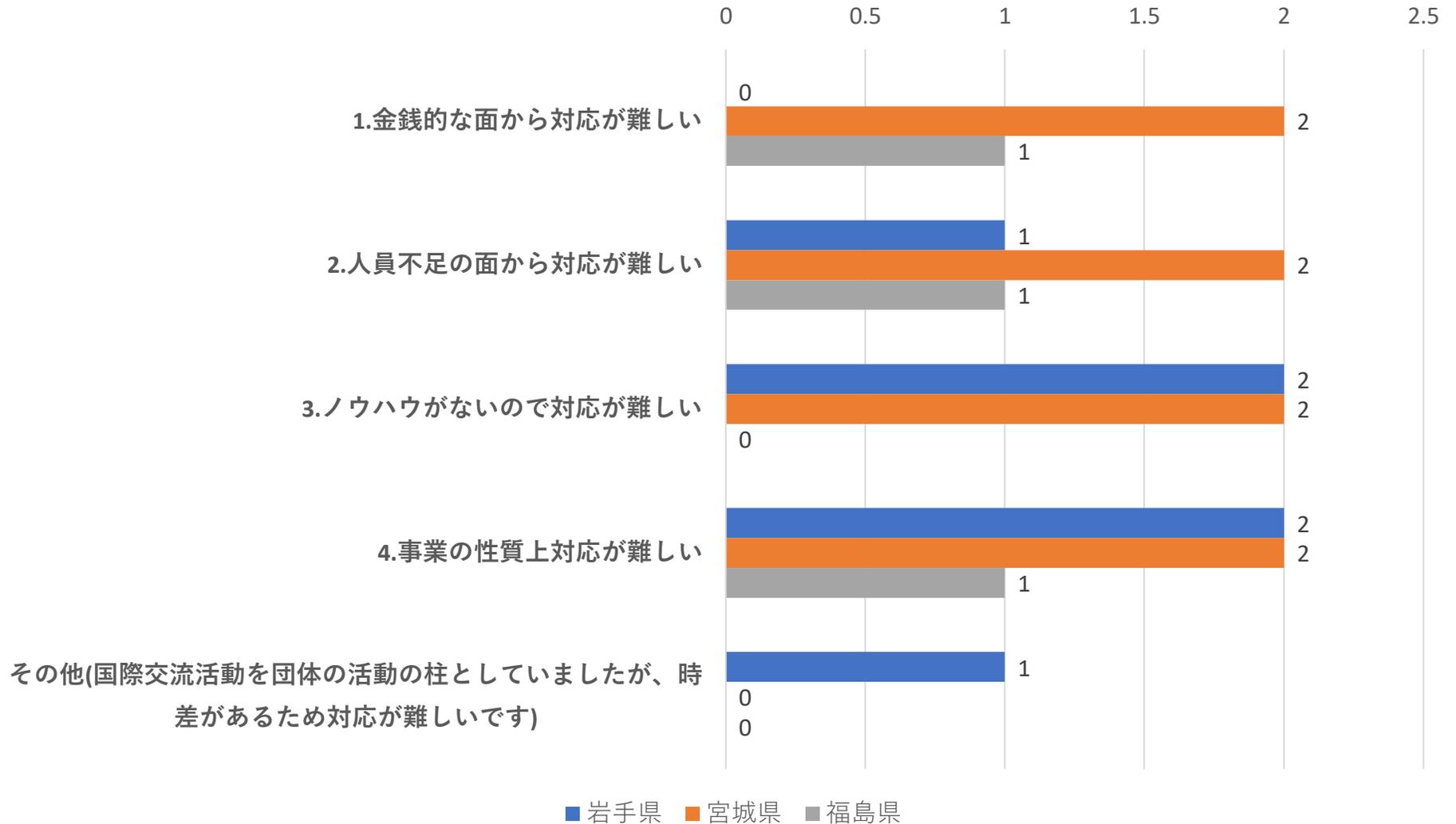
⑭ 貴団体の活動において「新型コロナウイルス感染拡大防止」への対応を十分に行えましたか。(必須)



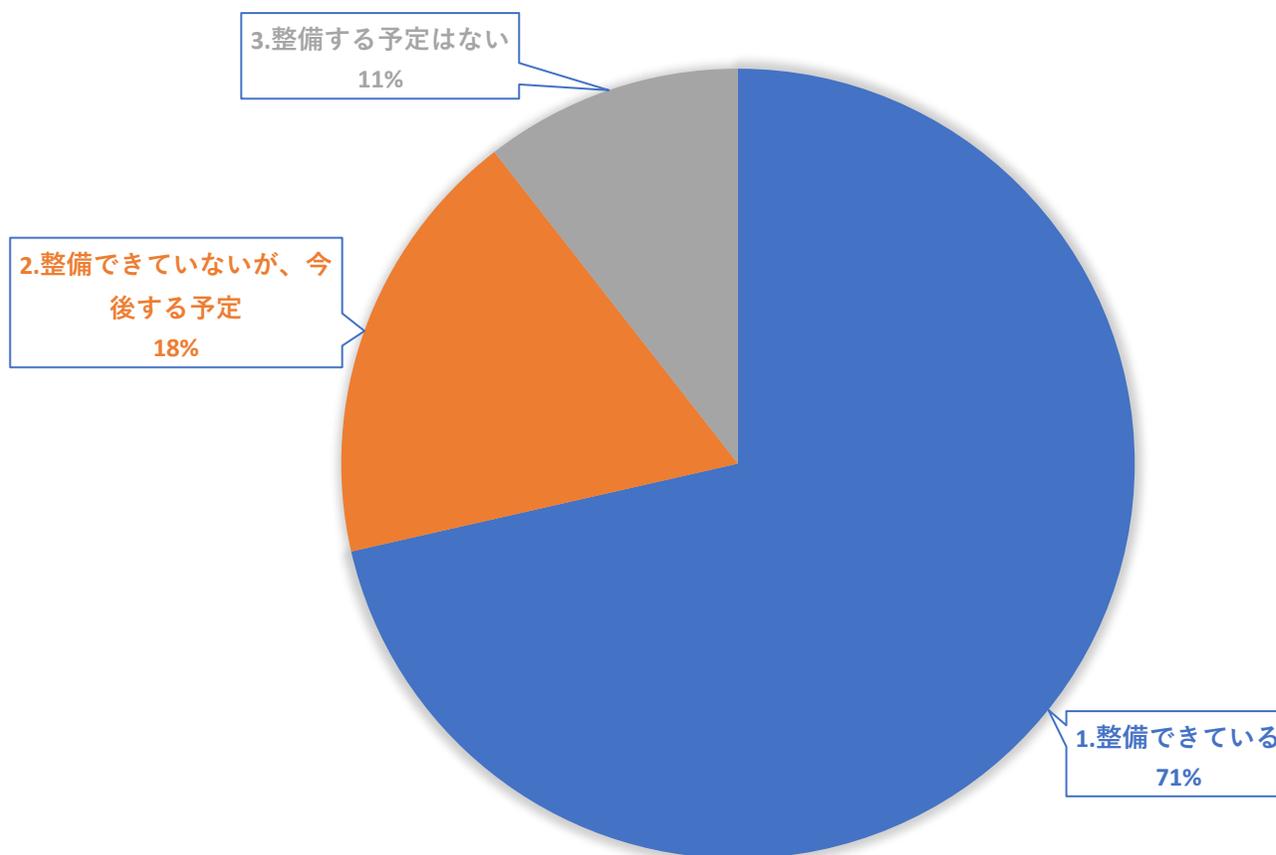
⑮ 対応が進まない理由はどのようなものですか。(必須)



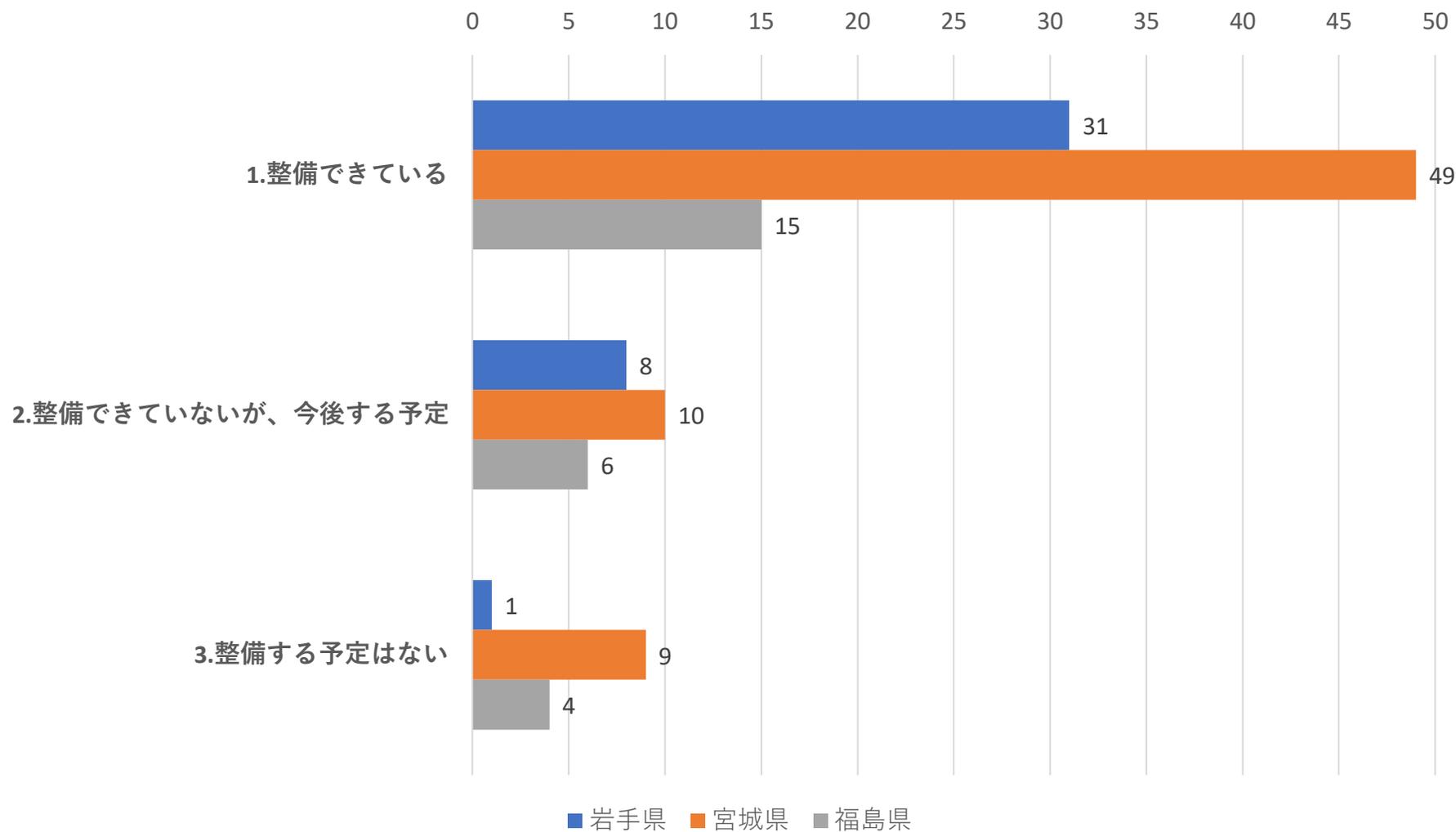
⑮ 対応が進まない理由はどのようなものですか。(必須)



⑩ 貴団体の活動における「新型コロナウイルス感染拡大防止」への対応として、オンラインツールの活用環境は整備されていますか（必須）

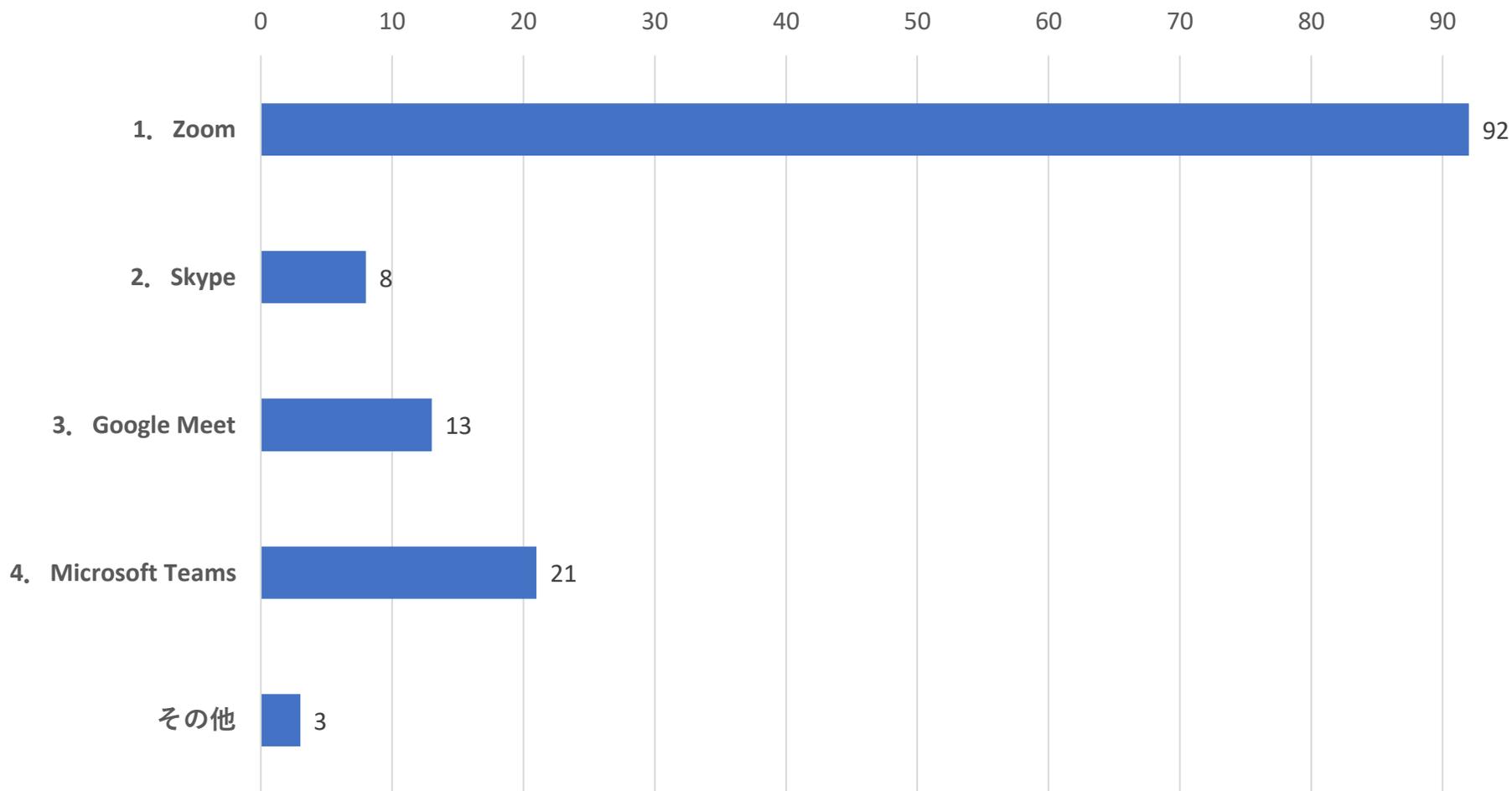


⑩ 貴団体の活動における「新型コロナウイルス感染拡大防止」への対応として、オンラインツールの活用環境は整備されていますか（必須）



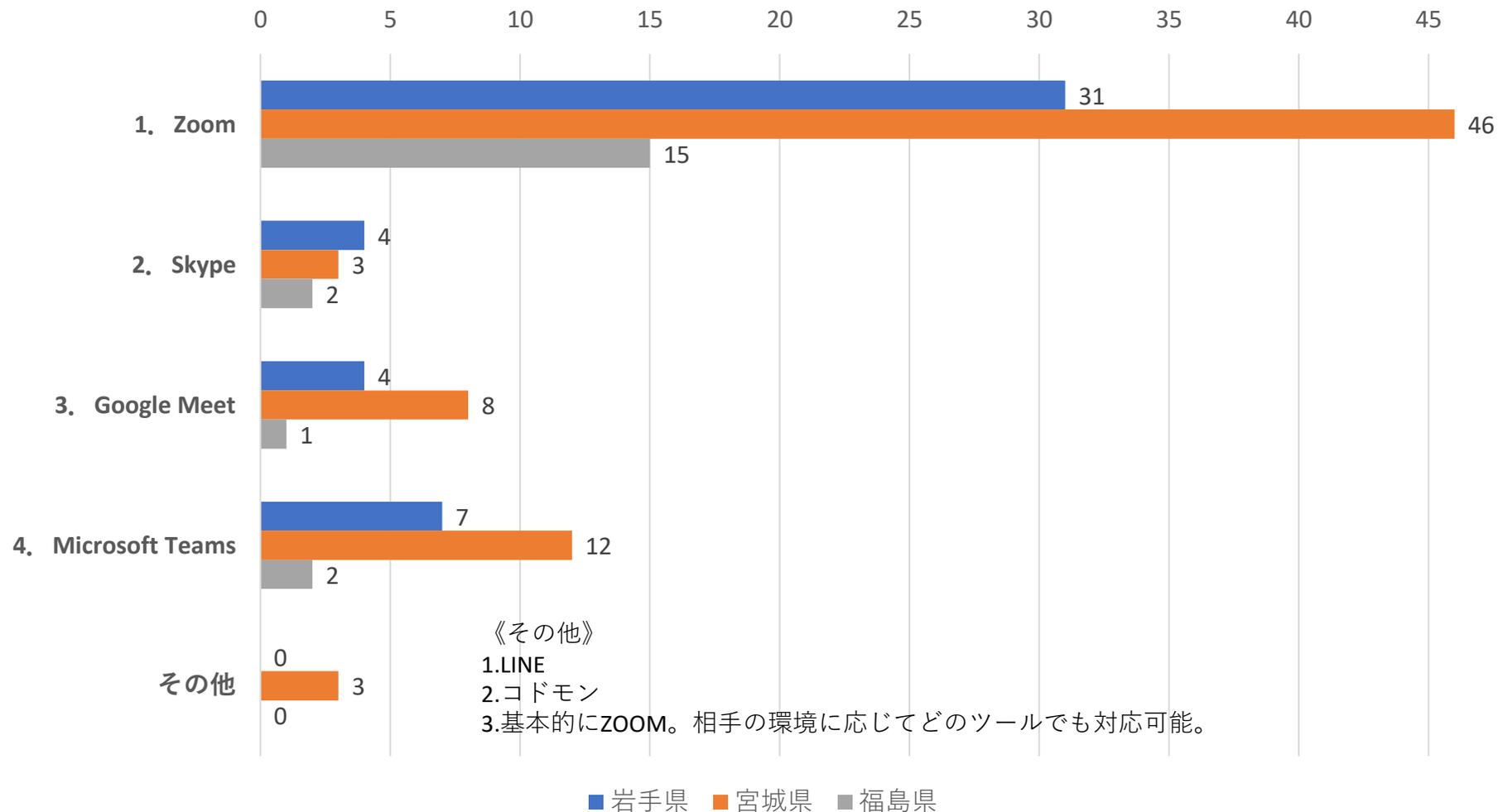
⑰ オンラインツールを活用した会議やセミナーを主催、参加する際、どのようなツールを利用していますか。
(複数回答可) (必須)

※⑰貴団体の活動における「新型コロナウイルス感染拡大防止」への対応として、オンラインツールの活用環境は整備されている95団体のみ回答



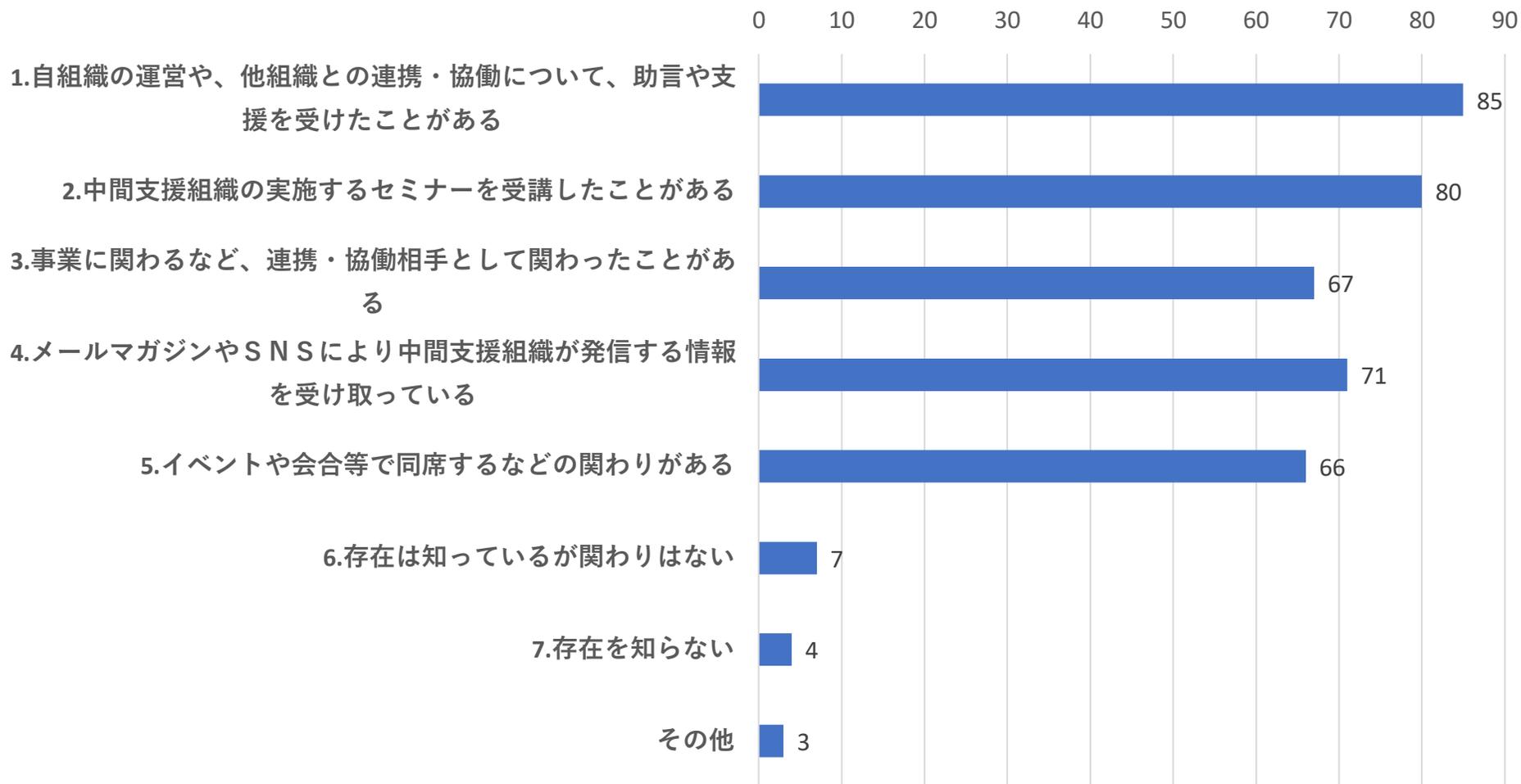
⑰ オンラインツールを活用した会議やセミナーを主催、参加する際、どのようなツールを利用していますか。
(複数回答可) (必須)

※⑰貴団体の活動における「新型コロナウイルス感染拡大防止」への対応として、オンラインツールの活用環境は整備されている95団体のみ回答

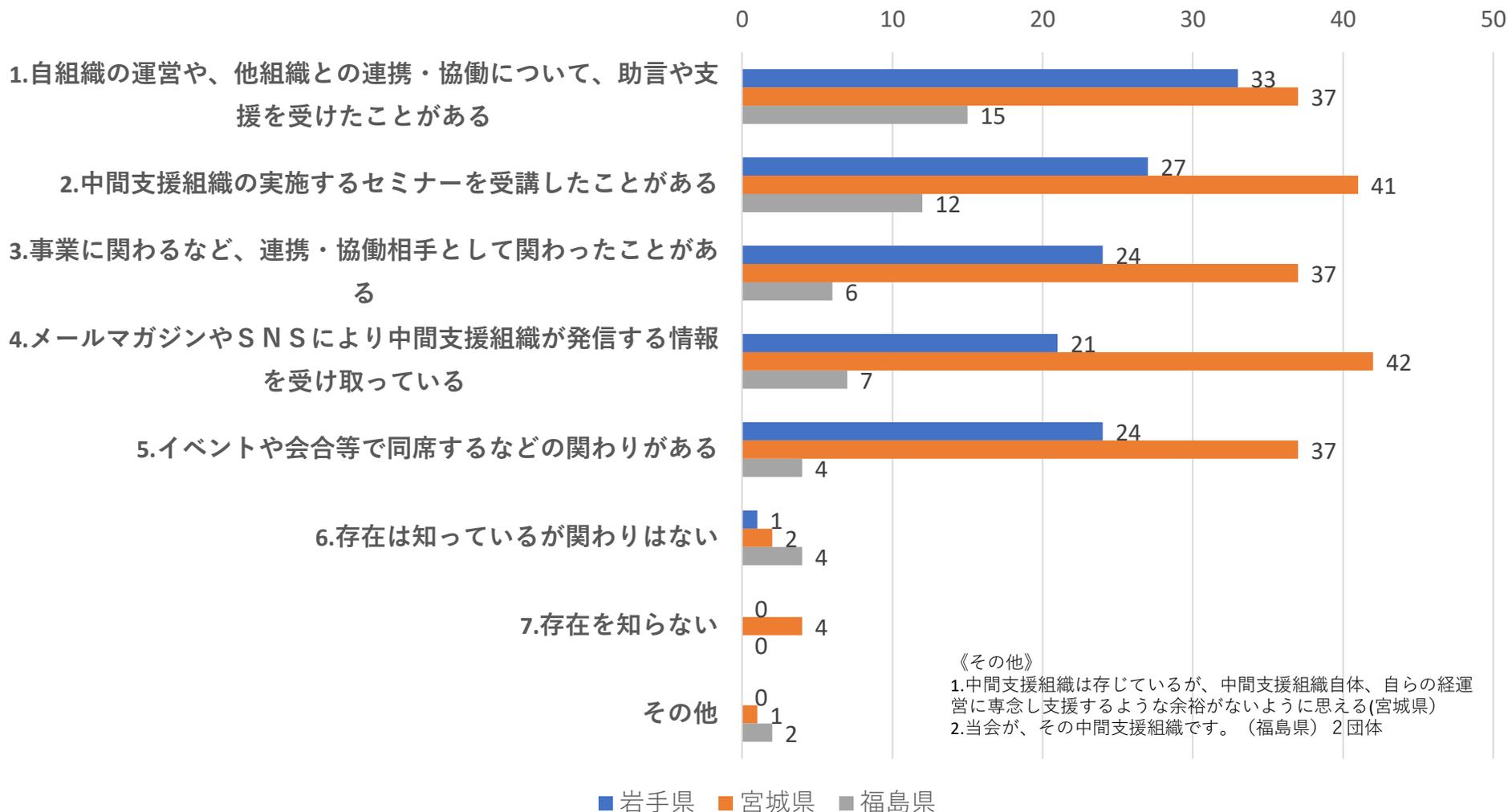


V. **NPO**支援組織との関わり、 連携について

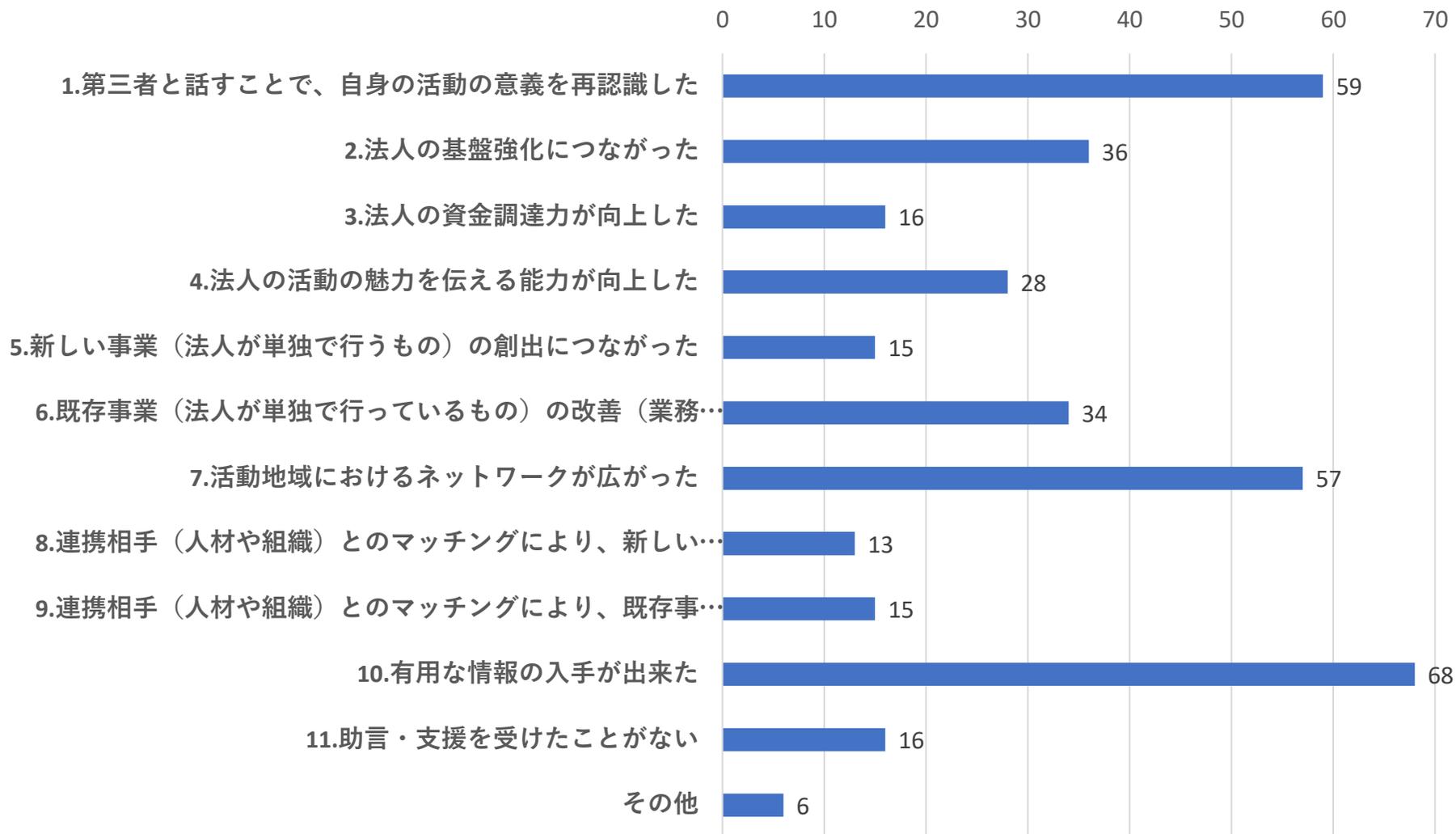
⑱ 市民活動やNPOの活動を支援する中間支援組織（市民活動支援センター、サポートセンター、社会福祉協議会、市民活動団体を支援するNPO等）と関わったことがありますか。（複数回答可）（必須）



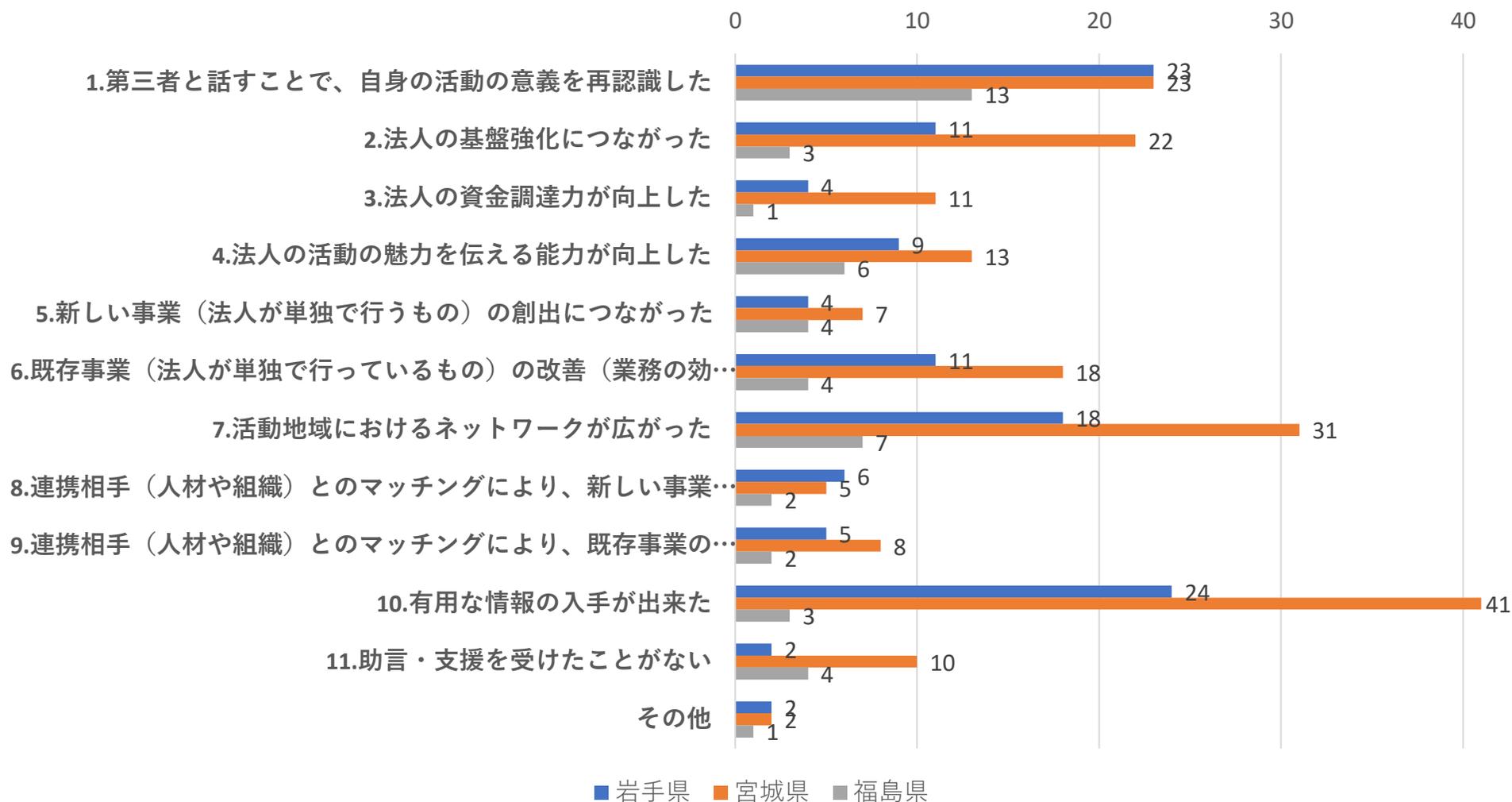
⑱ 市民活動やNPOの活動を支援する中間支援組織（市民活動支援センター、サポートセンター、社会福祉協議会、市民活動団体を支援するNPO等）と関わったことがありますか。（複数回答可）（必須）



⑱ 中間支援組織等から助言や支援等を受けた経験がある場合、貴団体にはどのような効果がありましたか。
(複数回答可) (必須)



⑱ 中間支援組織等から助言や支援等を受けた経験がある場合、貴団体にはどのような効果がありましたか。
 (複数回答可) (必須)

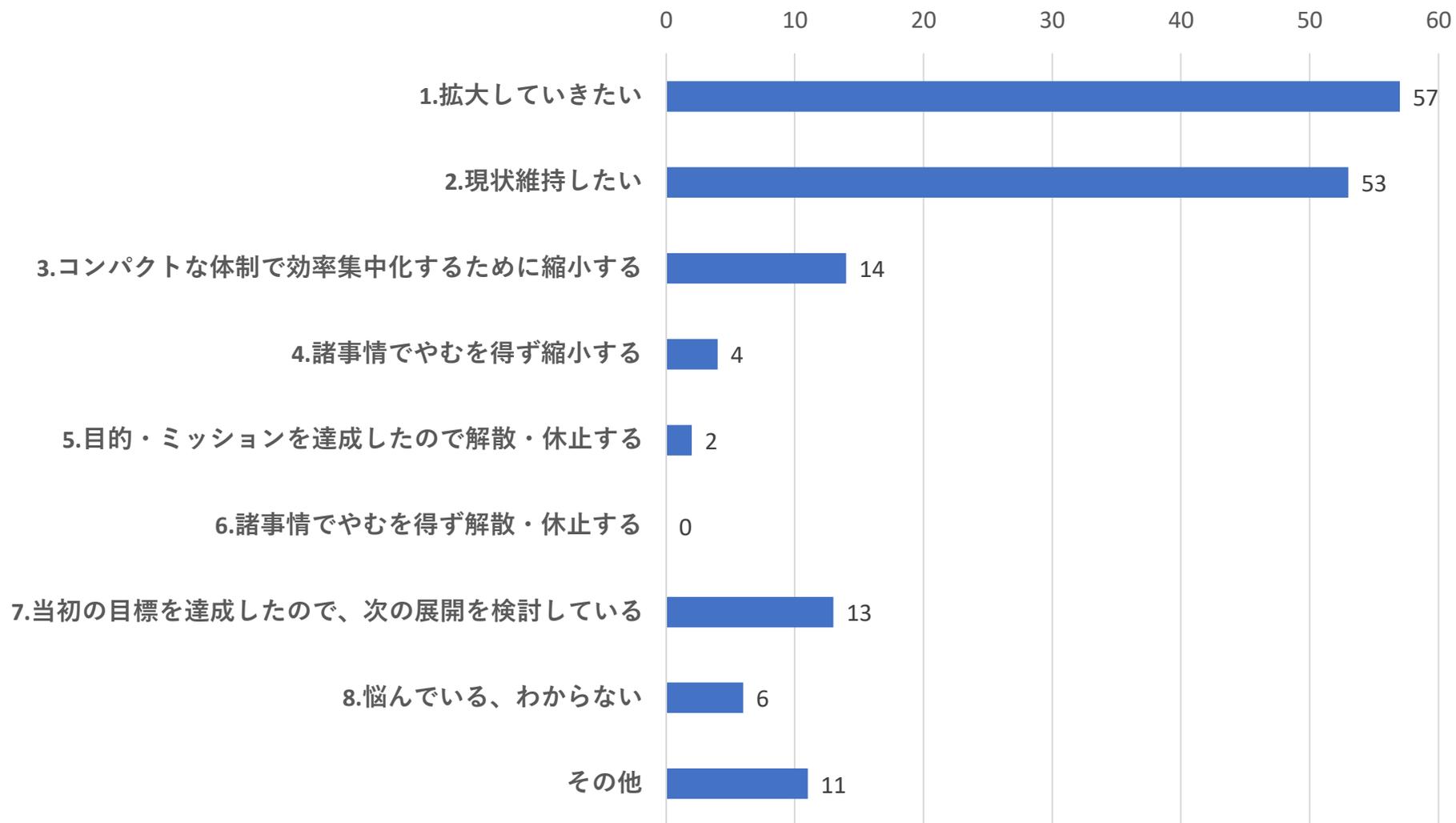


- ⑱ 中間支援組織等から助言や支援等を受けた経験がある場合、貴団体にはどのような効果がありましたか。
 (複数回答可) (必須)

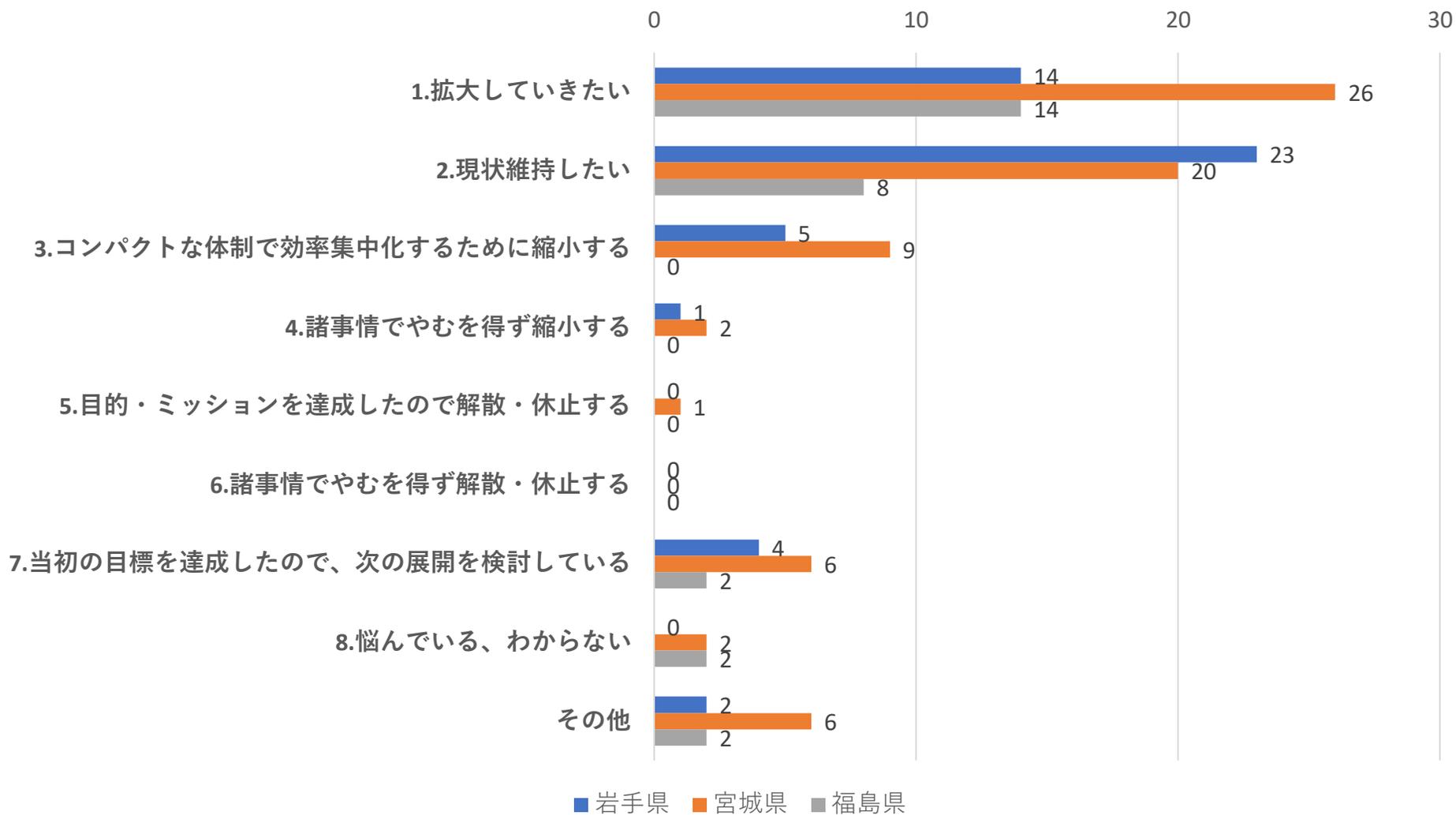
	《その他》	
1	関係性が増した	岩手県
2	特に得るものが無かった	
3	期待していない	宮城県
4	事務所を紹介いただいた	
5	特になかった	
6	当会が、その中間支援組織です。	福島県

VI. 貴団体の今後の経営意向について

⑳ 貴団体の今後の活動について、どのような展望をお持ちですか。（複数回答可）（必須）



⑳ 貴団体の今後の活動について、どのような展望をお持ちですか。（複数回答可）（必須）



⑳ 貴団体の今後の活動について、どのような展望をお持ちですか。（複数回答可）（必須）

	《その他》	
1	拡大も定常型経営の規模までを考えている。	岩手県
2	先の事は分からないと言われている	
3	復興支援に加え平時を意識した活動を増やしていきたい	
4	2030年を目標にミッションの達成をしていく。そのために今は現状維持でいいが、必要があれば拡大していく。	宮城県
5	活動の質の充実を図る；	
6	敬老精神の普及 年上の人を敬い、親子の敬愛の心を取り戻したい・。	
7	細々でも 社会情勢の中で、当会の目的・ミッションが必要とされるように努力していきたい	
8	他団体との連携を進めたい	
9	必要に応じて検討する	福島県
10	子ども食堂の市内ネットワークの充実	
11	分岐点に立っていて、拡大したい気持ちと縮小したい気持ちの半分半分	

② 貴団体は、最近どのようなトピック（事象、課題）に興味・関心をお持ちですか。

《岩手県》

- 食生活に興味を持たせて、自分で選ぶようにしている。
- 地域内連携による地域課題解決の仕組み作り。
- 木材加工、木工体験などの木材の活用法の拡充
- キャリア教育、社会教育、産業支援、経営者支援、移住促進など
- コミュニティビジネス
- コロナとの共生？ 活動の再開に向けた地域住民の心情・動向
- 医療的ケアの必要な子どもについて
- 磯焼け対策に関心があります
- 引きこもり問題
- 感染症等の要因を受けての今後の経営の基盤強化
- 厚生労働省が推奨している各自治体における重層的支援体制構築に向けた、多機関協働による包括的相談支援体制の構築
- 国際交流、地域におけるグローバル化
- 自治体間で差が出始めているICTを活用した教育環境
- 障害を持つ方が高齢になったときにも介護的支援を同事業所で継続できるようになるための給付費その他の法律上の改善を期待する。
- 震災から10年が経過しハード面での復興は終了しつつも、コロナの影響もありコミュニティの活性化はまだまだ必要と思われる。
補助金が減少する中で、今後は地元の団体に寄り添いながら援助していく方向である。そのような中でいかに地元のニーズに寄り添えるか課題ではある。
- 組織基盤の強化と人材育成
- 地域づくり、産業活性化
- 日本海溝、千島海溝地震津波
- 農業、ボランティア活動、高齢者支援活動等
- 復興庁閉庁後の活動について
- 分散型の介護事業を考えている。
- 法人名にもあるように障がい当事者の福祉に興味・関心があります。

⑳ 貴団体は、最近どのようなトピック（事象、課題）に興味・関心をお持ちですか。

《宮 城 県》

- 地域が続くための地域共生社会の実現
- 中高生の探究学習
- 被災地の高校生のサードプレイスづくり
- NbS（自然を基盤とした解決策）
- コロナ禍以降の販促方法
- フードバンク活動が他の市町村でもできないだろうか。賛同し興味を持つ団体が他の地域に生まれるようにPRしている。
- ロシアのウクライナ侵攻、外国人の入国再開
- 移動問題全般について
- 英語教育とフォニックス
- 課題解決以前の課題発見。
- 環境（ごみ屋敷や遺品整理）などと障がい者の就労・リユース、サイクルアップ
- 環境保全、リサイクルや循環型社会への取り組み
- 敬老の日だけのイベントでなく、常日頃年上の人を敬う世の中にしていきたい。その為には、敬語を使い、お年寄りを敬い。過去の活躍された方々を決して見下す世の中はでなく。お年寄りが心の底から笑える世界、寂しさを取り去り元気なお年寄り多く住む街を作りましょう。
- 耕作放棄地を活かせる活動はどのような活動があるかを模索中。
- 子育て環境の改善
- 市町村行政の急速な衰退、職員の資質の劣化に対して、地域側からの関心が希薄であること。
- 事業継続に必要な資金調達方法
- 自団体の活動と展望を他団体に知ってもらい、よいパートナーシップをつくりたい。
- 重層的支援体制の整備
- 助成金の情報
- 小規模地域の発展
- 障害者の生涯学習、制度外の自立した暮らし（ひとり暮らしが可能な地域へ！）、支援されるの価値の変換、政治
- 新しい拠点になる場所の確保。
- 人材育成,教育
- 人材確保、労務管理、質の向上、生活困窮、地域支援、基盤強化、処遇改善
- 人事労務

② 貴団体は、最近どのようなトピック（事象、課題）に興味・関心をお持ちですか。

《宮 城 県》

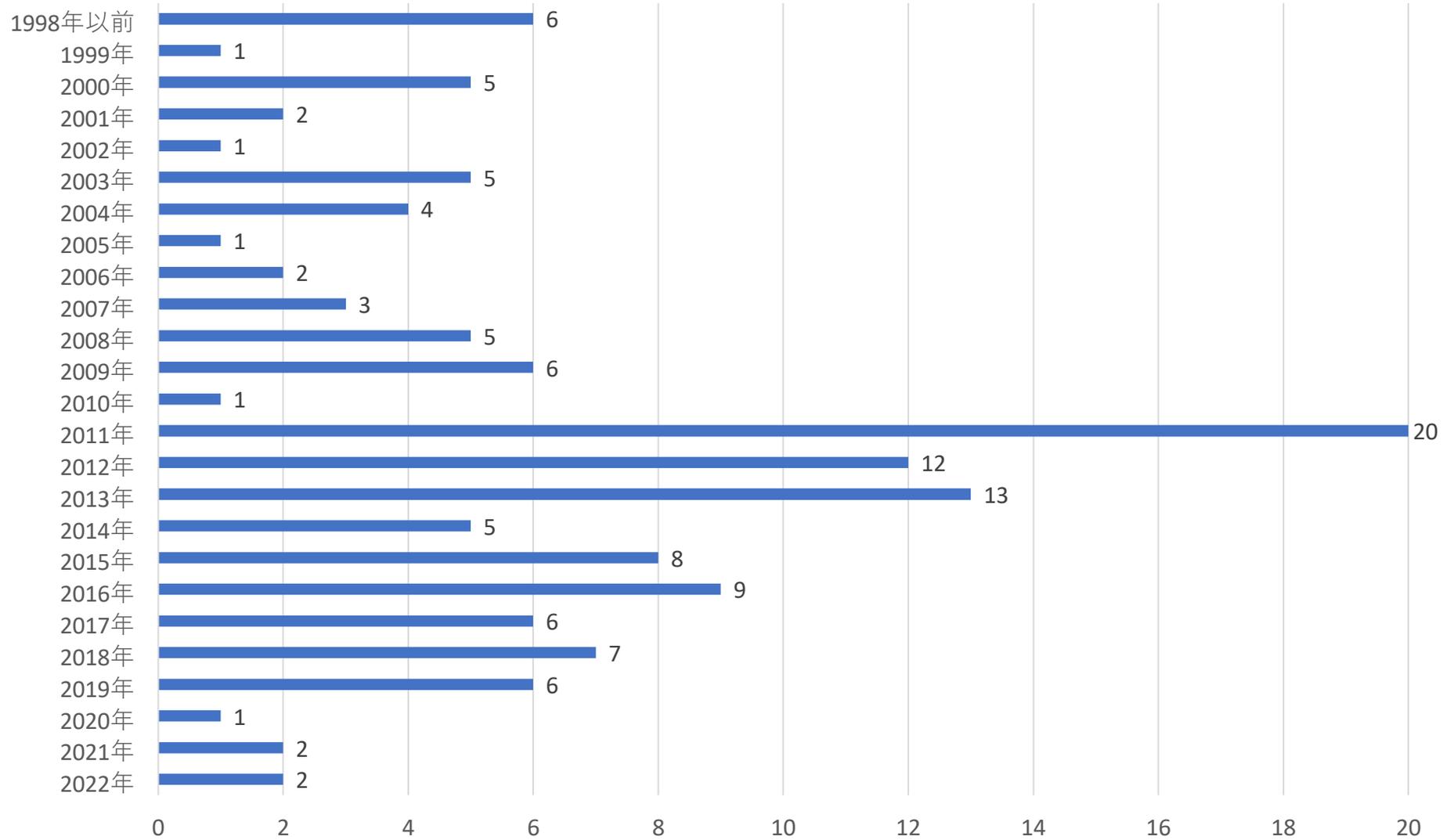
- 世代間交流（イベント） 子育て支援（絵本等）
- 石巻市街地の文化芸術面の活性化と裾野の拡大。
- 石巻地域の歴史と文化を知ること。
- 地域における自組織の役割
- 低年金・無年金の高齢世帯への生活支援
- 特になし
- 被災高齢者のコロナ感染拡大による交流の機会減少から孤立、認知症発症につながる危機感を持っている。
- 豊かさ・幸福度、ティール組織、人材育成の成果、ジェネレーター、コーディネーター育成、学びの場づくり、寛容性（トレランス）、育ち合うコミュニティ

② 貴団体は、最近どのようなトピック（事象、課題）に興味・関心をお持ちですか。

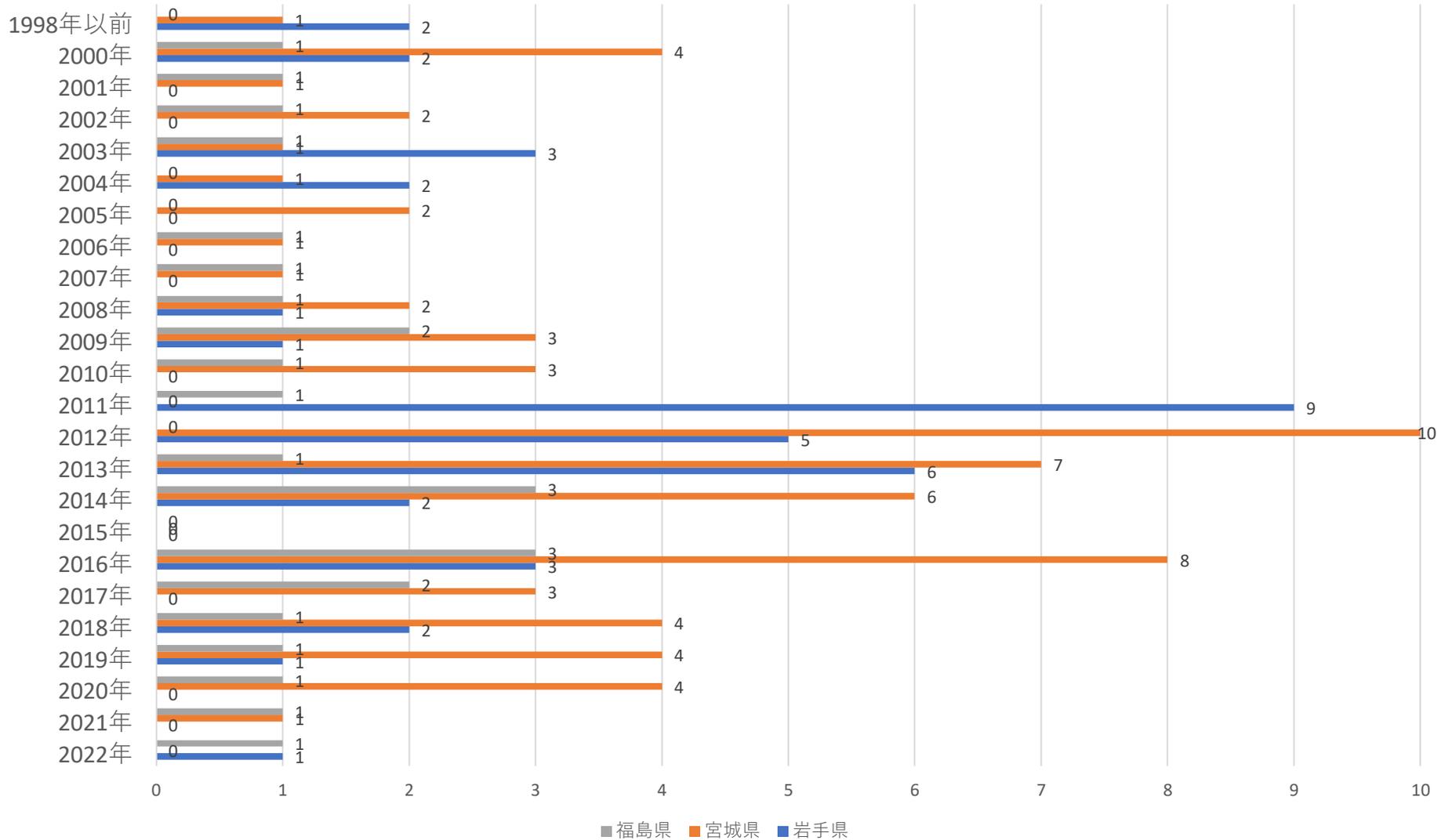
《福 島 県》

- 多世代交流と人材育成を同時に展開する広場を運営しており、成果が出て継続を望まれているが、資金調達（人件費や運営費）が困難である。資金不足を人力（体験実習やインターンシップ）などでカバーしていく。
- コロナウイルス感染拡大で加速した格差、生活困窮者の増加。
- ヒトの幸せについて考えている。衣食住や金銭や名誉などとは違う、知らないことを知ることの喜び、学んだことを体験によって理解する際の感動、それらが幸せの根源だと考えている。<https://youtu.be/qRozxAGHDbA>
- 子育て支援
- 子育て支援・高齢者支援・環境整備(エコロジー)
- 市民社会の意思決定
- 社会のニーズはなんなのか、それに私たちの団体はどう貢献でき、どうしたら運営がなりたつのか。スタッフと利用者に向どう発信し、共通認識を持ってもらうのか。迷うことが多いです。最近、ようやくこまごまとスタッフに連絡を取る事を始めました。10年経ちましたが、組織運営はこれからなんだと思います。
- 障がい者と防災 地域との関係強化
- 食のバリアフリー(食物アレルギー対応)・若者のファイナンシャルリテラシー教育
- 新型コロナ感染が低調になったら、イベントを数多く行い、こども達や若人・老人のコミュニケーションの場をつくりたい。
- 脱炭素や生物多様性の理解醸成
- 被災者支援を中心に活動して来た。ダンスで交流を深め地域のコミュニティの構築や公営団地で引きこもりを無くする事にも貢献。同時に関わる子供へのボランティア教育や地域企業や団体と協働出来る体制仕組みを作る必要がある。
- 被災地・ふくしまの「市民活動諸団体」の活動基盤の充実と継続性の確保
- 風評は正しい情報を知らない人が、第三者の意見などに流されて発生する不安や恐れに起因しており、それを解消するには、正しくものを見る目や自分の頭で考える能力を有する人材を養成する教育の仕組みづくりが必要であり、私たちが取り組んできた、ものごとの仕組みを理解することによって得られる幸せを、いかに多く作っていくかということが、今後の基本方針として定まった。これを「幸せをつくる教育」と名づけて今後は、この方針いよって賛同者を多く募り、南相馬市に地域資源を活かした新しい学校を作ると共に、地域教育学会の設立を目指していきたい。

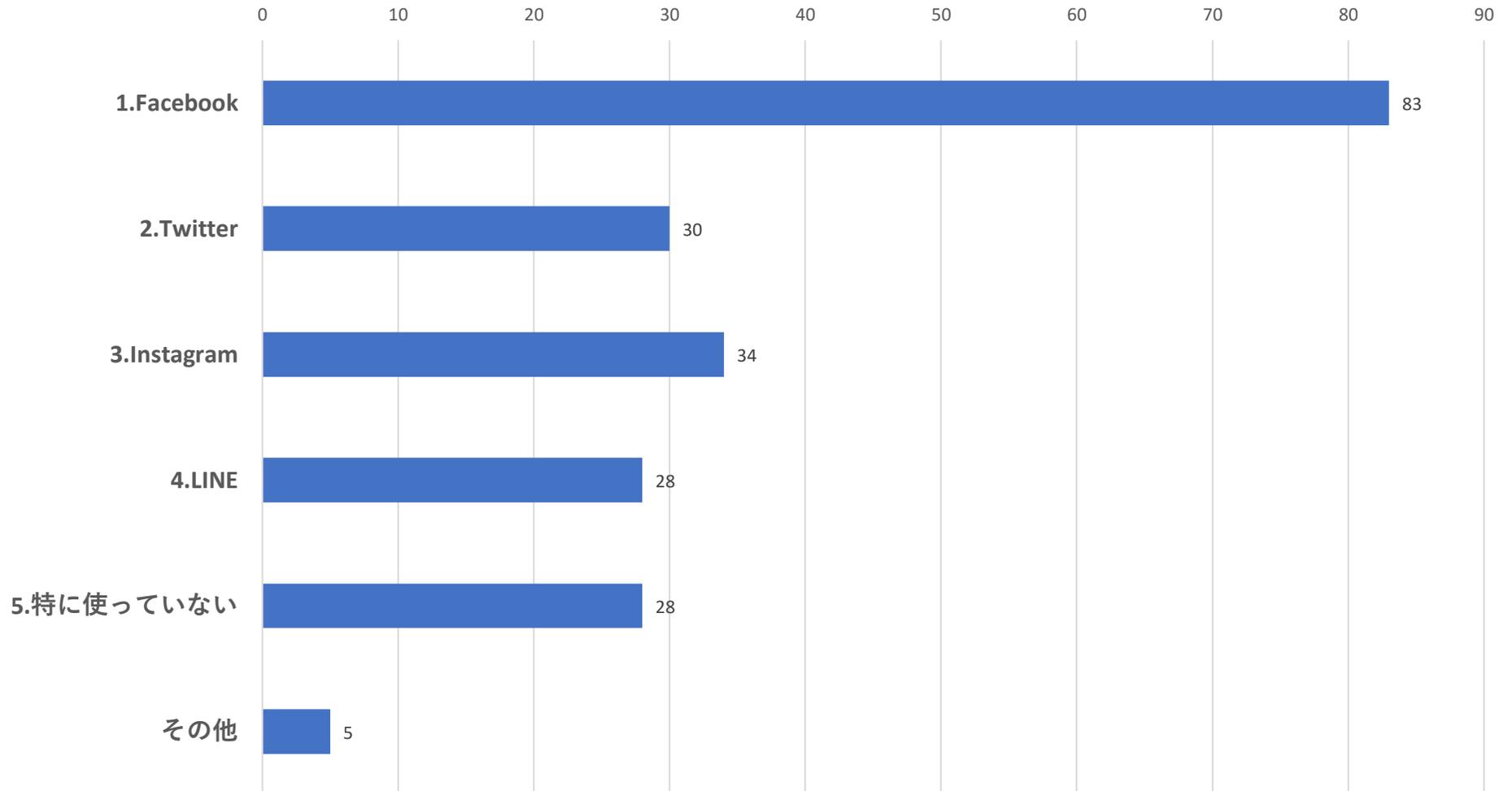
㊸団体の設立年



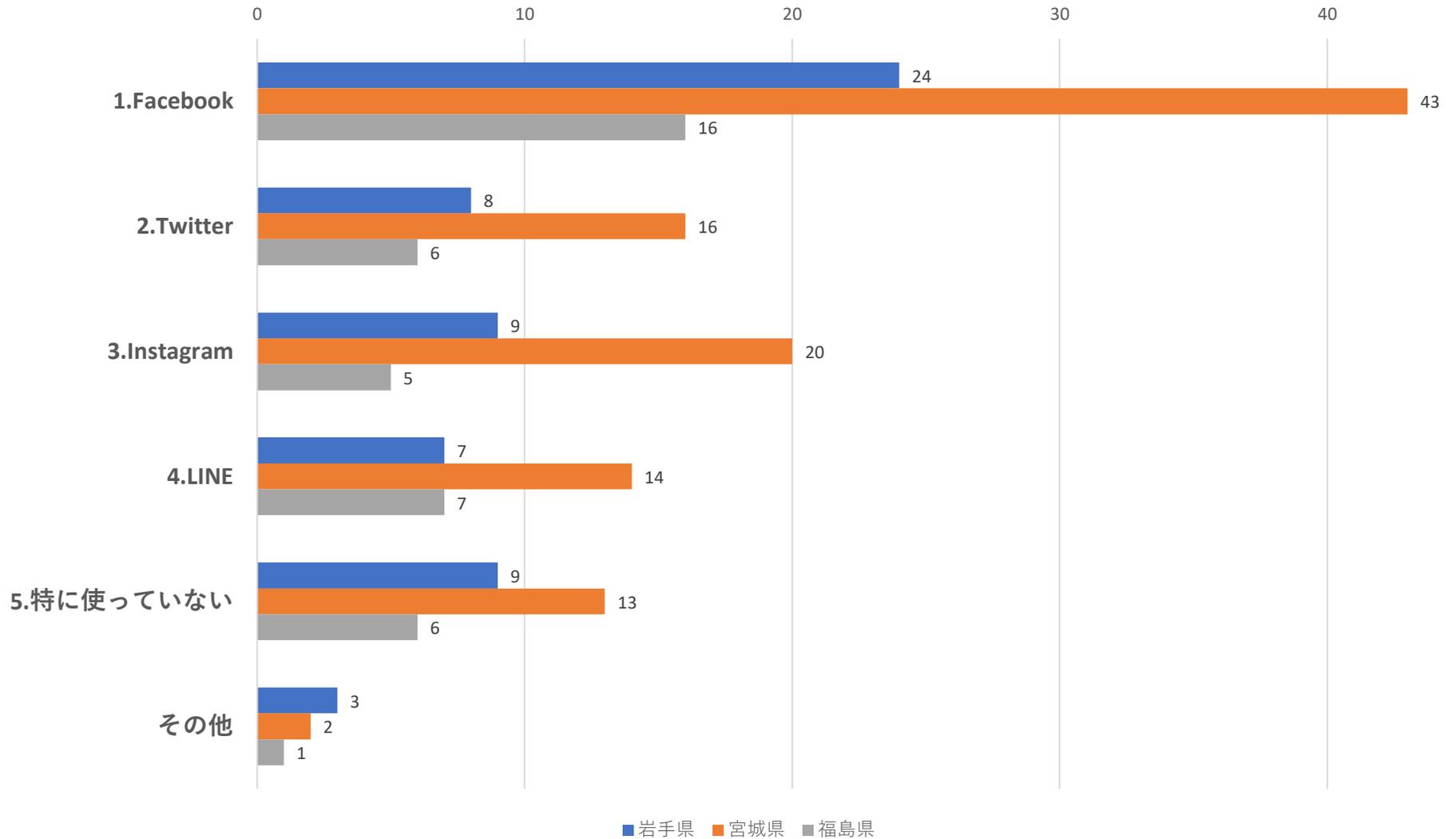
㊸団体の設立年



⑳ 貴団体が活用しているSNS（全体）



⑳ 貴団体が活用しているSNS



㊦ 貴団体が活用しているSNS

	《その他》	
1	note	岩手県
2	ブログ	岩手県
3	ホームページ	岩手県・宮城県
4	You Tube	宮城県
5	一斉メーリング	福島県